

2026



埼玉県マスコット「コバトン」

グラコで見える 彩の国さいたま



埼玉県の1日 (2024年)

出生数



109人

資料：厚生労働省
「人口動態統計(確定数)の概況」

死亡数



236人

資料：厚生労働省
「人口動態統計(確定数)の概況」

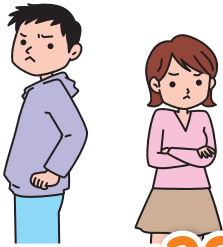
婚姻件数



77件

資料：厚生労働省
「人口動態統計(確定数)の概況」

離婚件数



29件

資料：厚生労働省
「人口動態統計(確定数)の概況」

転入者数



514人

資料：総務省統計局
「住民基本台帳人口移動報告年報」

転出者数



455人

資料：総務省統計局
「住民基本台帳人口移動報告年報」

パスポート発行件数



597件

資料：県パスポートセンター
「事務概要」

日本人出国者数



1,831人

資料：出入国在留管理庁
「出入国管理統計年報」

110番通報(有効受理)件数



1,712件

資料：県警察本部
「警察のあゆみ」

刑法犯認知件数



141件

資料：県警察本部
「犯罪統計」

交通事故(人身事故)発生件数



43件

資料：県警察本部
「交通事故統計資料「HANDBOOK」」

救急自動車の出動件数



1,228件

資料：総務省消防庁
「救急救助の現況」

注) 1日当たりの数値=2024年中の数値 / 366日。

刊行にあたって

この冊子は、埼玉県の人口、産業、保健福祉、環境、学校教育など生活に関係の深い統計をグラフ化し、分かりやすくまとめたものです。

小・中学生の学習用副教材として、また、幅広い世代の方々に御利用いただくことで、一人でも多くの皆様に、統計及びふるさと“さいたま”への親しみと理解を深めていただければ幸いです。

刊行にあたりまして、貴重な資料を御提供いただきました関係機関の御厚意に深く感謝申し上げます。

令和8年3月

埼玉県総務部統計課長



埼玉県マスコット「コバトン」「さいたまっち」

西暦・年号 対比表

(子年・辰年・申年は、うるし閏年)

十二支	子	丑	寅	卯	辰	巳	午	未	申	酉	戌	亥
西暦	1960	1961	1962	1963	1964	1965	1966	1967	1968	1969	1970	1971
年号	昭和35	昭和36	昭和37	昭和38	昭和39	昭和40	昭和41	昭和42	昭和43	昭和44	昭和45	昭和46
西暦	1972	1973	1974	1975	1976	1977	1978	1979	1980	1981	1982	1983
年号	昭和47	昭和48	昭和49	昭和50	昭和51	昭和52	昭和53	昭和54	昭和55	昭和56	昭和57	昭和58
西暦	1984	1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995
年号	昭和59	昭和60	昭和61	昭和62	昭和63	昭和64・平成元	平成2	平成3	平成4	平成5	平成6	平成7
西暦	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007
年号	平成8	平成9	平成10	平成11	平成12	平成13	平成14	平成15	平成16	平成17	平成18	平成19
西暦	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
年号	平成20	平成21	平成22	平成23	平成24	平成25	平成26	平成27	平成28	平成29	平成30	平成31・令和元
西暦	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026					
年号	令和2	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7	令和8					

目次

● 1 土地・気象

- ① 埼玉県的位置と面積 …………… 4
- ② 地形別の面積の割合 …………… 4
- ③ 利用形態別の面積の割合 …………… 4
- ④ 各地の平均気温と降水量 …………… 5
- ⑤ 降水日数 …………… 5

● 2 人口

- ① 年齢3区分別人口の推移 …………… 6
- ② 平均年齢の推移 …………… 6
- ③ 一般世帯の家族類型別の割合 ……… 7
- ④ 一般世帯の世帯人員別の割合 ……… 7
- ⑤ 人口ピラミッド …………… 7
- ⑥ 出生率と死亡率の推移 …………… 8
- ⑦ 合計特殊出生率の推移 …………… 8
- ⑧ 転入者数と転出者数の推移 ……… 8
- ⑨ 県外・県内への通勤・通学者数 …… 9
- ⑩ 昼夜間人口と比率 …………… 9

● 3 事業所・労働

- ① 事業所数と従業者数の推移 ……… 10
- ② 業種別の事業所数と従業者数の割合 10
- ③ 男女別・年齢別の有業率 ……… 10
- ④ 産業3部門別の就業者割合の推移 … 11
- ⑤ 男女別就業形態 …………… 11

● 4 農 業

- ① 農家数の推移 …………… 12
- ② 耕地面積の推移 …………… 12
- ③ 部門別の農業産出額の割合 ……… 12
- ④ 産出額が全国で1位、2位の野菜 … 12
- ⑤ 主要農産物の産出額 …………… 13
- ⑥ 地域別の主な農産物 …………… 13

● 5 工 業

- ① 産業別の事業所数の割合
(事業所数の推移) …………… 14
- ② 産業別の従業者数の割合
(従業者数の推移) …………… 14
- ③ 産業別の製造品出荷額等の割合
(製造品出荷額等の推移) …………… 14
- ④ 主な製造品の出荷額 …………… 15
- ⑤ 伝統的手工芸品 …………… 16

● 6 商業・観光

- ① 商業事業所数・従業者数・
年間商品販売額の推移 …………… 17
- ② 小売業の業種別の事業所数、
従業者数と年間商品販売額の割合 … 17
- ③ 市町村別の可住地面積当たり
年間商品販売額 …………… 18
- ④ 観光地点別、行祭事・イベント別の
観光入込客数 …………… 18
- ⑤ 観光消費額 …………… 18

● 7 国際化

- ① 国籍別・地域別在留外国人の割合 … 19
- ② パスポートの発行件数と
出国者数の推移 …………… 19
- ③ 県内の外国人留学生数の推移 ……… 19

● 8 運輸・通信

- ① 一般国道の主な地点の
平日24時間交通量 …………… 20
- ② 運転免許保有者数の推移 …………… 20
- ③ 自動車の保有台数の推移 …………… 20
- ④ 主な駅の1日当たりの乗車人数 …… 21
- ⑤ 電話契約数と
音声通信発信回数の推移 …………… 21
- ⑥ 端末別インターネットの利用率 …… 21

● 9 電気・ガス・上下水道

- ① 家庭におけるエネルギー源別
消費量の推移 …………… 22
- ② 電力使用量 …………… 22
- ③ 上水道の年間給水量と
1人1日平均給水量の推移 …………… 23
- ④ 水道と下水道の普及率の推移 ……… 23

● 10 くらし

- ① 1世帯当たり1か月間の収入と支出 … 24
- ② 消費者物価指数 …………… 24
- ③ 購入金額が全国で上位の食料品 …… 25
- ④ 若者の消費生活相談の相談件数 …… 25
- ⑤ 1日の生活時間 …………… 25

● 11 保健・福祉

- ① 医療施設数の推移 …………… 26
- ② 県内で働く医療従事者数の推移 …… 26
- ③ 年齢階級別の主な死因別の割合 …… 26
- ④ 1人当たり国民医療費…………… 27
- ⑤ 老人ホームの数と定員数の推移 …… 27
- ⑥ 保育所及び幼保連携型認定こども園
在籍状況の推移 …………… 27

● 12 環 境

- ① 1日に出るごみの排出量の推移 …… 28
- ② ごみの分別収集をしている
市町村数の割合 …………… 28
- ③ ごみのリサイクル状況の推移 …… 28
- ④ 河川の水質汚濁の原因 …………… 29
- ⑤ 太陽光発電のある住宅数 …………… 29
- ⑥ 新車販売台数における
電動車の台数の推移 …………… 29
- ⑦ 光化学スモッグ注意報
発令日数の推移 …………… 29

● 13 学校・教育

- ① 児童・生徒数の推移 …………… 30
- ② 小学6年生(11歳)の身長と体重 …… 30
- ③ 小学6年生の運動能力…………… 30
- ④ 図書館貸出冊数の推移 …………… 30
- ⑤ 進学率の推移 …………… 31
- ⑥ 小学校・中学校の
外国人児童・生徒数の推移 …… 31
- ⑦ 高等学校卒業後の進路状況 …… 31
- ⑧ 児童・生徒1人当たりの
学校教育費の推移 …………… 31

● 14 財 政

- ① 県の財政規模の推移 …………… 32
- ② 県の一般会計決算の構成比 …… 32

● 15 火災・救急

- ① 原因別の火災発生件数の割合 …… 33
- ② 月別の火災発生件数 …………… 33
- ③ 救急自動車の出動件数と
搬送人員の推移 …………… 33

● 16 交通事故・犯罪

- ① 交通事故の発生件数と
死者数の推移 …………… 34
- ② 状態別の交通事故死者数の割合 …… 34
- ③ 年代別の交通事故死者数の割合 …… 34
- ④ 刑法犯の認知件数と検挙率の推移 … 35
- ⑤ 刑法犯で検挙・補導された少年の
学職別人員の割合 …………… 35
- ⑥ 特殊詐欺の認知件数・
被害金額の推移 …………… 35
- ⑦ わがまち防犯隊の数の推移 …… 35

● 統計グラフを作ってみよう！ 36

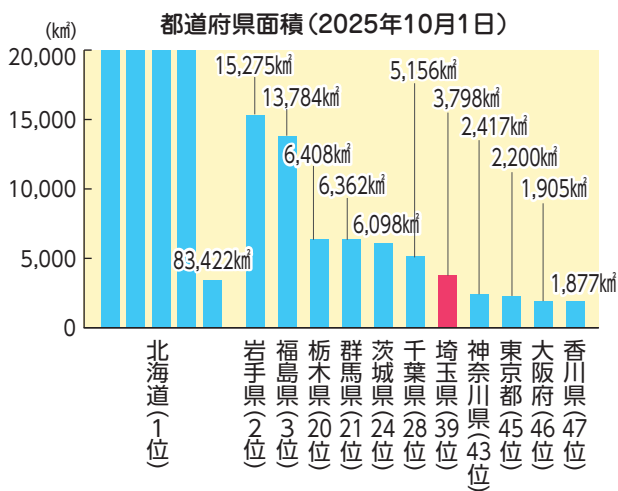
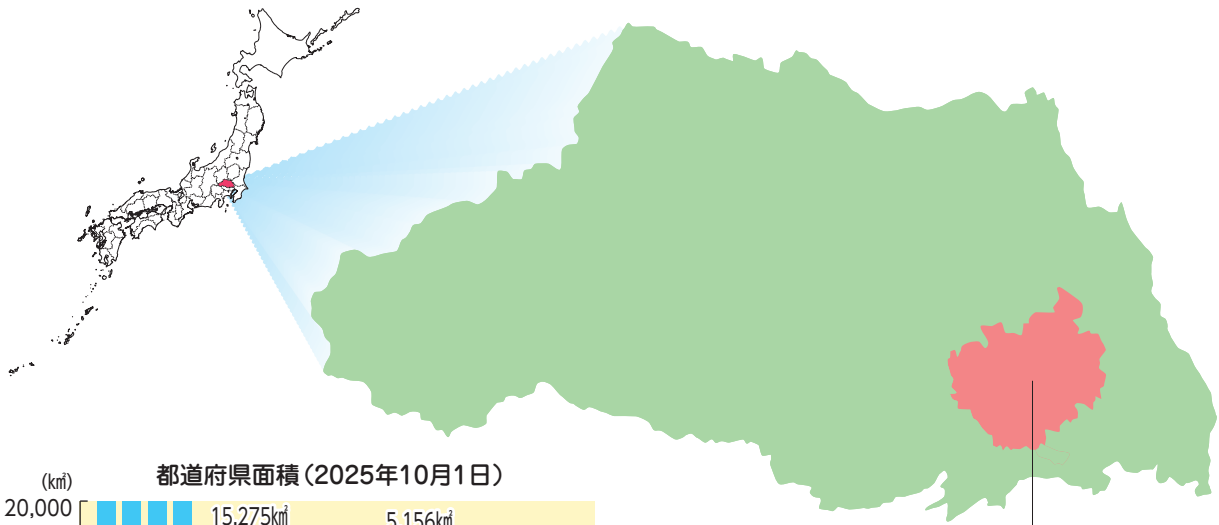
<御利用にあたって>

- 1 統計グラフで「年」とあるのは暦年(1月から12月まで)を示し、「年度」とあるのは会計年度(4月から翌年3月まで)を表します。
- 2 数字の単位未満は、四捨五入してあるので、合計の数字と内訳の計が一致しない場合があります。
- 3 解説中に用いている「ポイント」とは、パーセントとパーセントの差を表します。
- 4 省庁名は2025年10月1日現在のものであり、資料公表時とは異なる場合があります。
- 5 原則として市町村名は調査時点のものです。
- 6 本書の内容について無断転載を禁じます。
- 7 本書についての問い合わせ先
埼玉県総務部統計課 企画指導担当
電話 048-830-2312(直通)



1 土地・気象

① 埼玉県の位置と面積

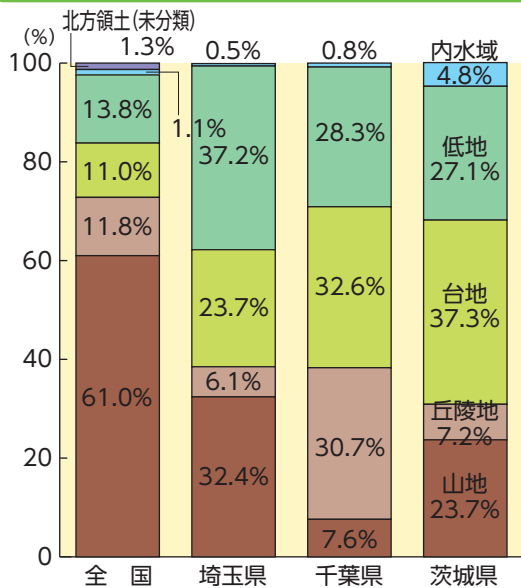


県庁所在地 (2025年10月1日)
さいたま市
東経139°39'
北緯35°51'

参考：国土地理院
資料：「全国都道府県市区町村別面積調」

埼玉県は、関東地方の中西部に位置する内陸県です。面積は約3,798km²で国土の約1%に当たり、47都道府県中39番目の広さです。

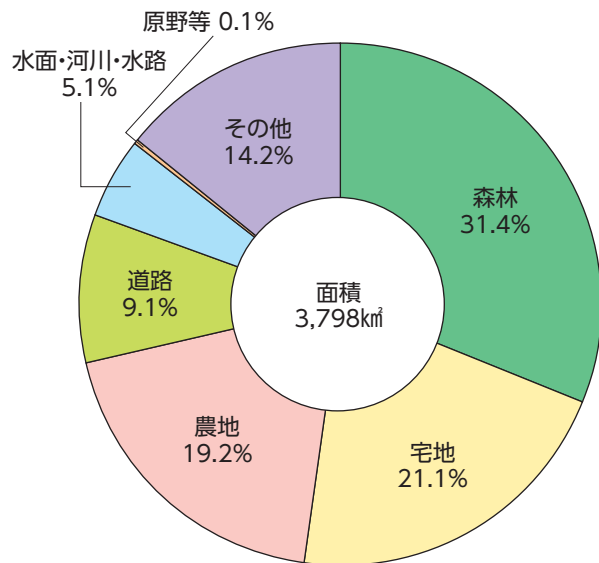
② 地形別の面積の割合 (1982年)



資料：総務省統計局「第六十五回日本統計年鑑」

埼玉県の地形の特徴は、平地(台地・低地の計)の割合が高いことです。平地の面積は約2,300km²で、約61%を占めています。平地の割合が県土の60%を超えているのは本県と千葉県、茨城県の3県だけです。

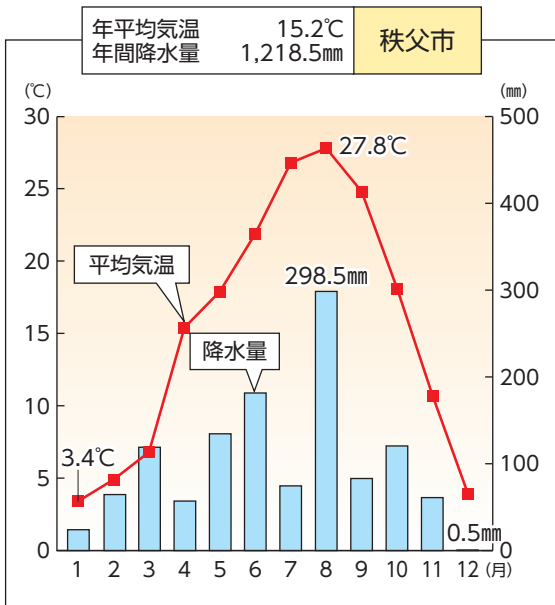
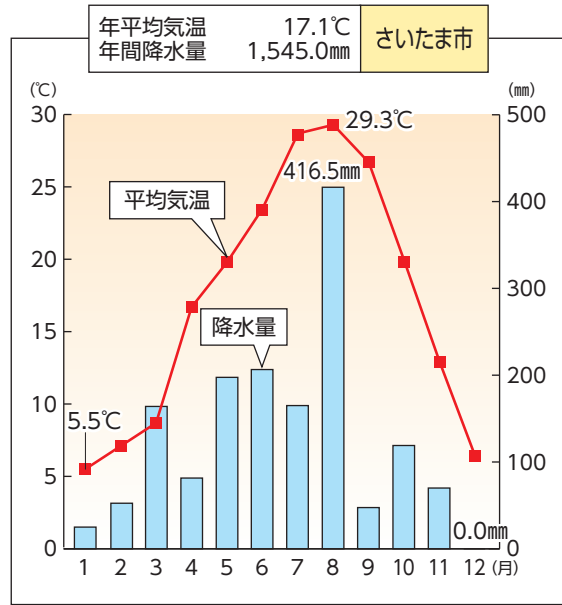
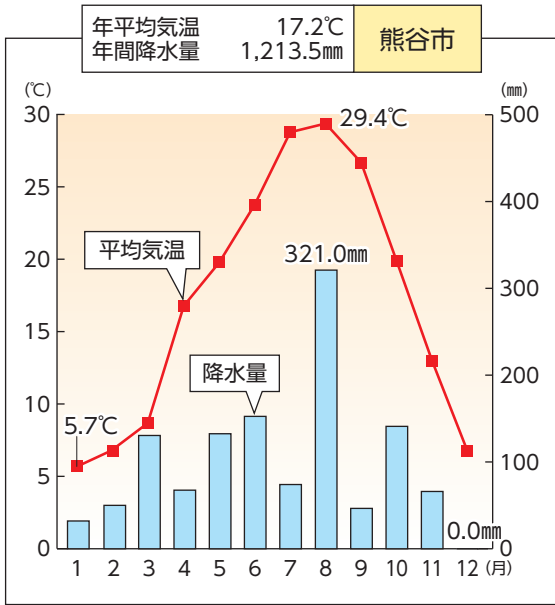
③ 利用形態別の面積の割合 (2023年)



資料：県土地水政策課「埼玉の土地」

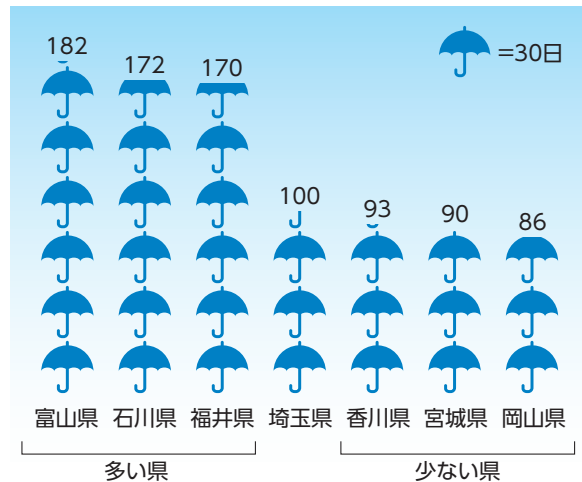
県土面積約3,798km²のうち、おおよそ、森林が31%、宅地が21%、農地が19%、道路が9%、水面・河川・水路が5%、その他が14%で、農林地の面積が、県土の51%を占めています。

④ 各地の平均気温と降水量 (2024年)



資料：気象庁HP

⑤ 降水日数 (2024年)



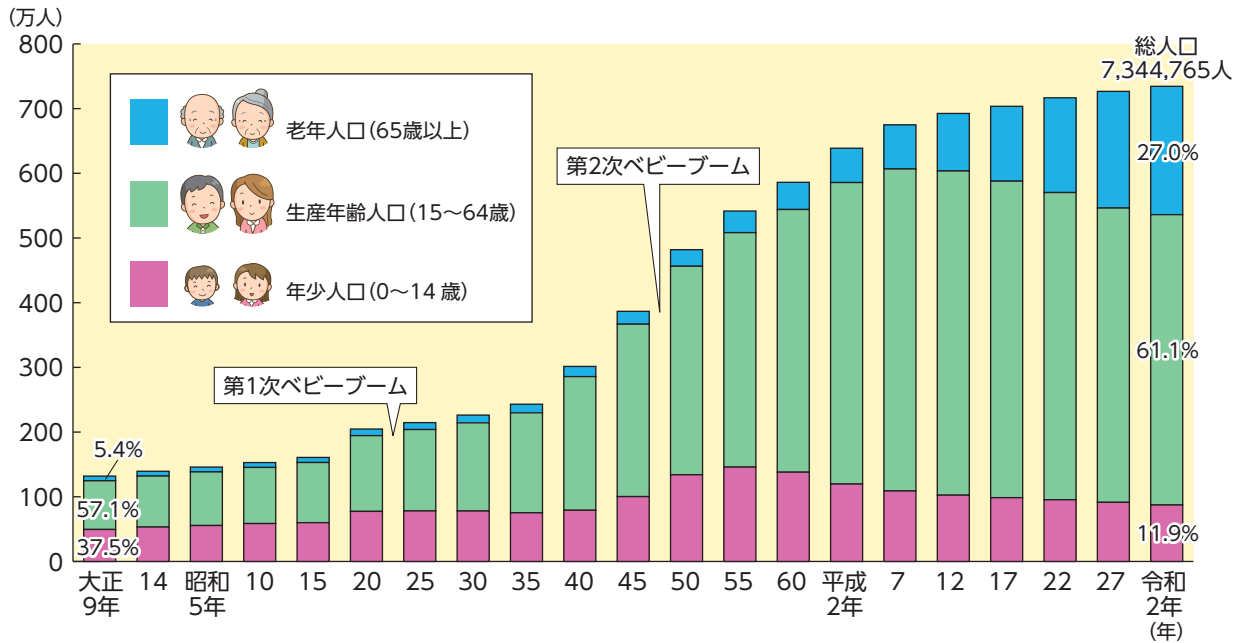
- 本県の気候は太平洋側気候に属します。冬は北西の季節風が強く、晴天の日が多くて空気が乾燥します。夏は日中かなりの高温になり、雷の発生や降ひょうが多いのが特徴です。県内の地域別に気温の特徴をみると、北部は、県内でも夏の気温が高い地域となっていて、2018年7月23日には、熊谷で当時の国内最高気温の41.1℃を観測しました。一方、秩父盆地は、冬に夜の冷えこみが強く、1954年1月27日にマイナス15.8℃の県内最低気温を観測しました。

注1 1日の降水量が1.0mm以上の日を降水日とした。
注2 埼玉県は熊谷市、千葉県は銚子市、滋賀県は彦根市、山口県は下関市、他は都道府県庁所在地における観測値を比較している。
資料：気象庁HP

- 埼玉県の降水日数は全国で39位です。全国的に見ると雨の日が少ないことがわかります。

2 人口

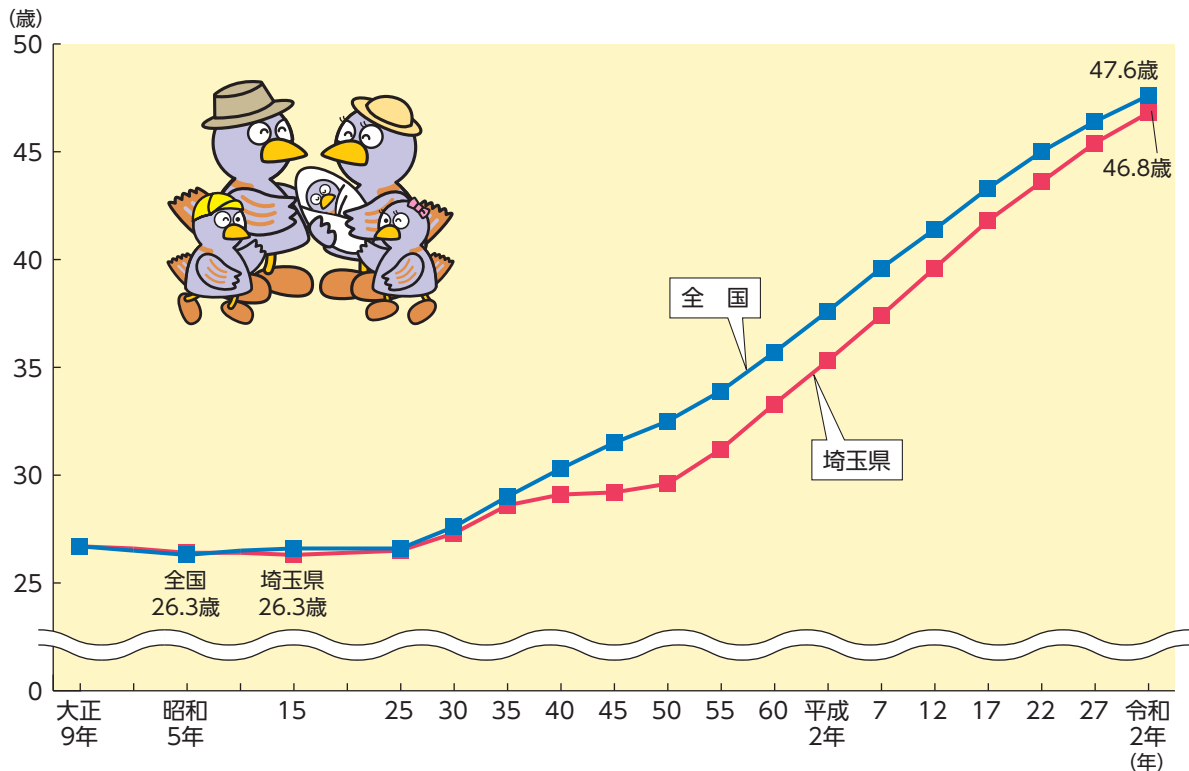
① 年齢3区分別人口の推移 (各年10月1日現在)



注1 昭和20年は11月1日現在で行われた人口調査結果による人口である。
 注2 グラフの構成比は、年齢不詳が生じた調査年は「不詳」数を分母に含めない方法によって算出している。
 注3 平成27年と令和2年は集計結果に含まれる年齢の「不詳」をあん分等によって補完した「不詳補完値」によって算出している。
 資料：総務省統計局「国勢調査」

📍 令和2年の年齢3区分別人口は、年少人口(0~14歳)が872,859人、生産年齢人口(15~64歳)が4,488,130人、老年人口(65歳以上)が1,983,776人でした。老年人口割合は27.0%で、全国で6番目に低い割合となりました。

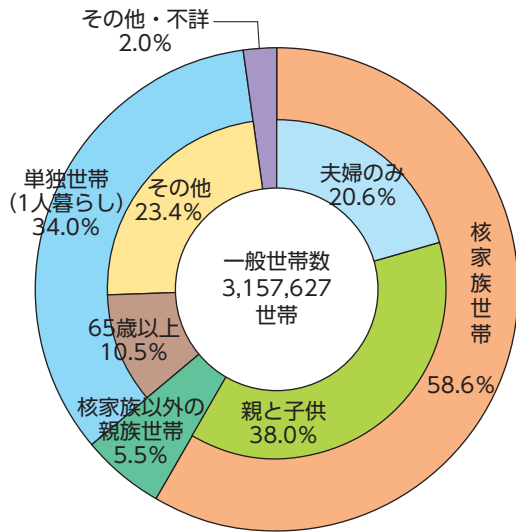
② 平均年齢の推移 (各年10月1日現在)



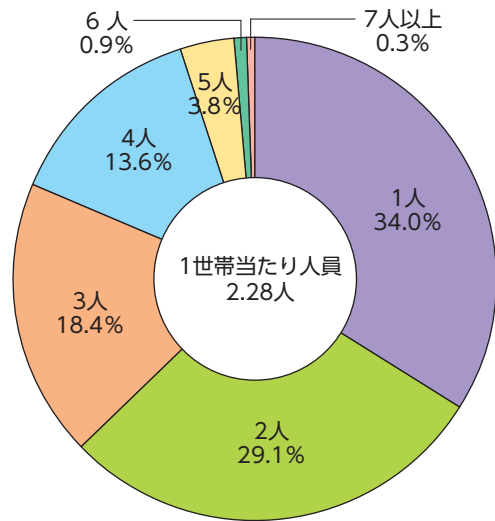
資料：総務省統計局「国勢調査」

📍 埼玉県の平均年齢は46.8歳で、5年前の平成27年の調査と比べて1.4歳上昇しました。

③ 一般世帯の家族類型別の割合 (令和2年10月1日現在)



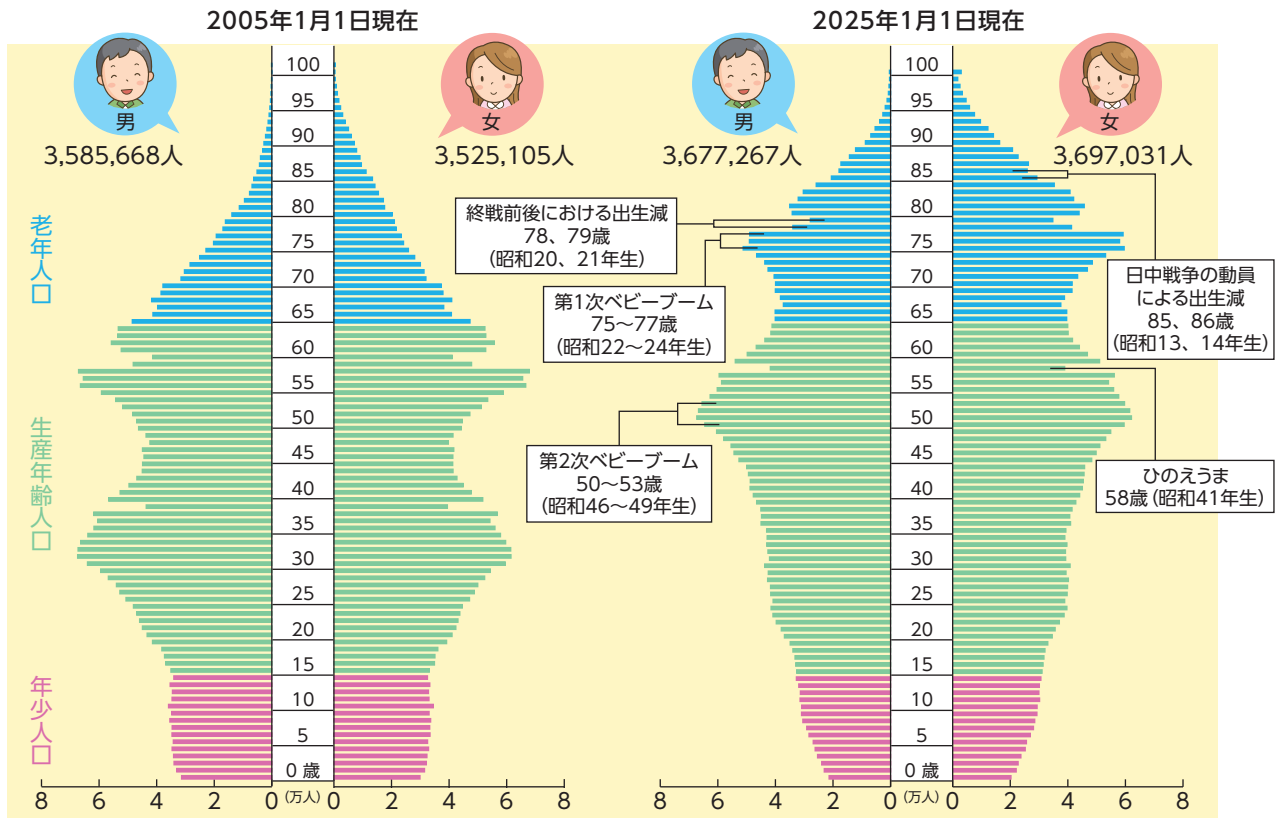
④ 一般世帯の世帯人員別の割合 (令和2年10月1日現在)



注) 一般世帯とは、寮や寄宿舎の学生、病院・療養所などの入院者、社会施設の入所者、自衛隊営舎内居住者などを除いた世帯をいう。
資料：総務省統計局「国勢調査」

核家族世帯の数は、一般世帯全体の58.6%を占めています。この割合は全国第3位でした。高齢者が1人で住む世帯は、前回の国勢調査より57,186世帯(20.7%)増加して332,963世帯でした。高齢者が1人で住む世帯は、30年前の平成2年には、39,905世帯だったので、約29万世帯も増えたことになります。また、1世帯当たりの人数は、大正9年の第1回国勢調査では5.45人でしたが、令和2年には2.28人と2分の1以下の人数になっています。

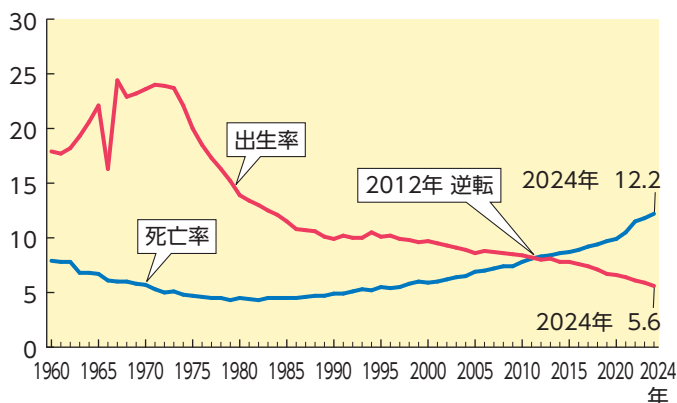
⑤ 人口ピラミッド



資料：県統計課「埼玉県町(丁)字別人口調査結果報告」

人口ピラミッドは、各時代の社会情勢を背景とする出生・死亡の状況を反映しています。2025年と20年前の2005年を比較してみると、35歳以下の年齢層は少なくなり、逆に65歳以上の年齢層は多くなっています。

⑥ 出生率と死亡率の推移



埼玉県の出生率は減少傾向、死亡率は増加傾向にあり、2012年には死亡率が出生率を上回りました。2024年の出生数は39,956人で出生率は5.6、死亡数は86,383人で死亡率は12.2でした。

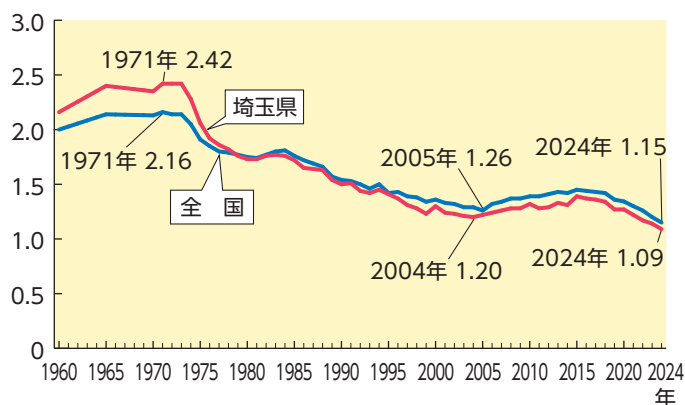
埼玉県の1日

出生数 109人、死亡数 236人

注) 出生(死亡)率とは、埼玉県における年間の出生(死亡)数がその年の10月1日現在の埼玉県における日本人人口1,000人に占める割合をいう。

資料：厚生労働省「人口動態統計(確定数)の概況」、県保健医療政策課「埼玉県の人口動態概況(確定数)」

⑦ 合計特殊出生率の推移



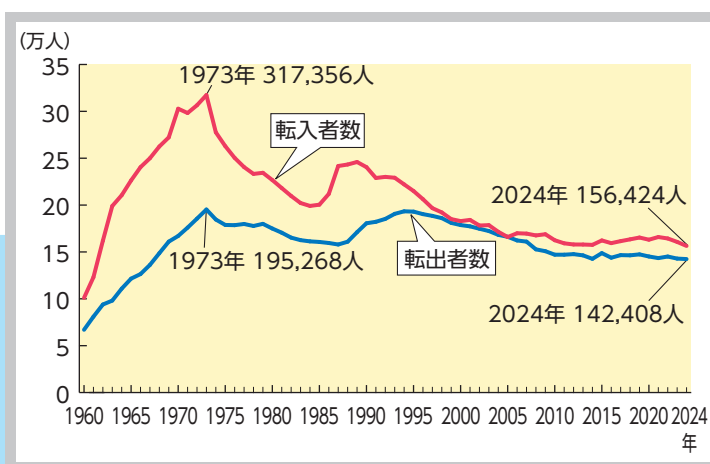
1人の女性が生む子どもの数の平均である合計特殊出生率は、2004年に1.20まで低下し、その後いったん上昇傾向が続いて2015年には1.39まで持ち直しましたが、再び低下傾向にあり、2024年の値は1.09でした。

注) 合計特殊出生率は、15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、1人の女性が平均して一生の間に何人の子どもを生むかを表している。

資料：県保健医療政策課「埼玉県の合計特殊出生率」、埼玉県の人口動態概況(確定数)

⑧ 転入者数と転出者数の推移

2024年の本県への転入者数は156,424人、転出者数は142,408人で、転入超過数は、14,016人でした。埼玉県は転入者が転出者よりも多い転入超過であることがわかります。



埼玉県の1日

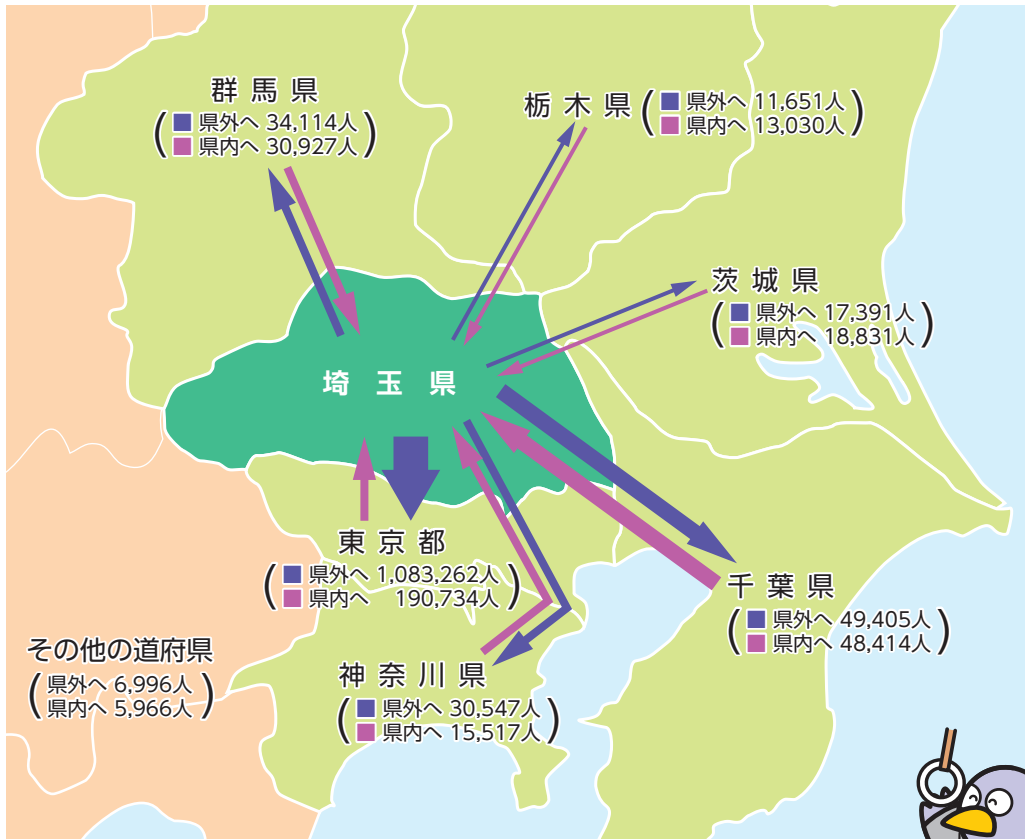
転入者数 514人、転出者数 455人

※外国人移動者を含む数値で計算。

注) 転入者数とは、各年1年間に他都道府県から本県に住所を移した日本人の数をいい、転出者数は、本県から他都道府県に住所を移した日本人の数をいう。

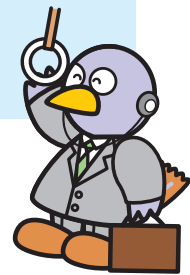
資料：総務省統計局「住民基本台帳人口移動報告年報」

⑨ 県外・県内への通勤・通学者数 (令和2年10月1日現在)

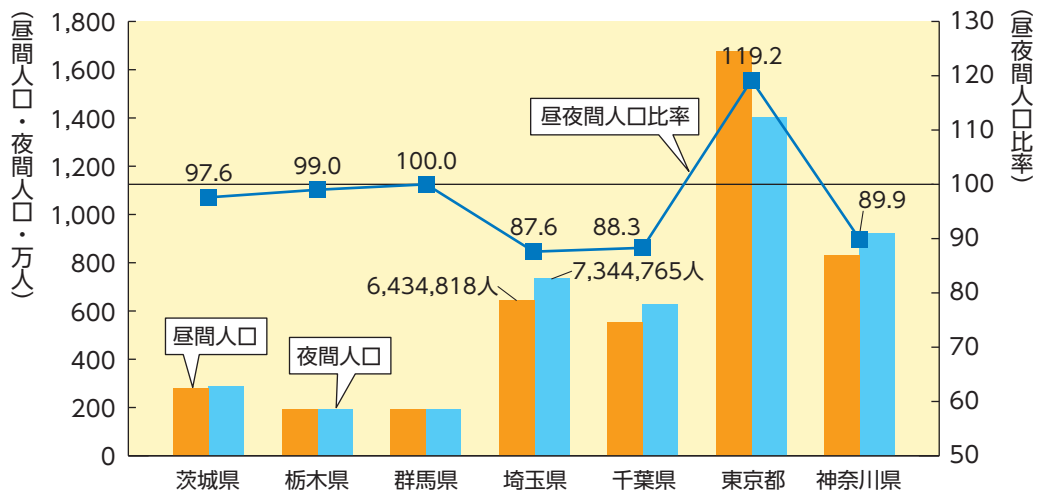


注) 従業地・通学地が「不詳」又は従業・通学市区町村が「不詳・外国」の者については補完しています。
資料：総務省統計局「国勢調査」

- ↑ 県外へ通勤・通学している人の数は、全国で2番目に多い1,233,366人です。このうち約87.8%の人が、東京都への通勤・通学者です。



⑩ 昼夜間人口と比率 (令和2年10月1日現在)

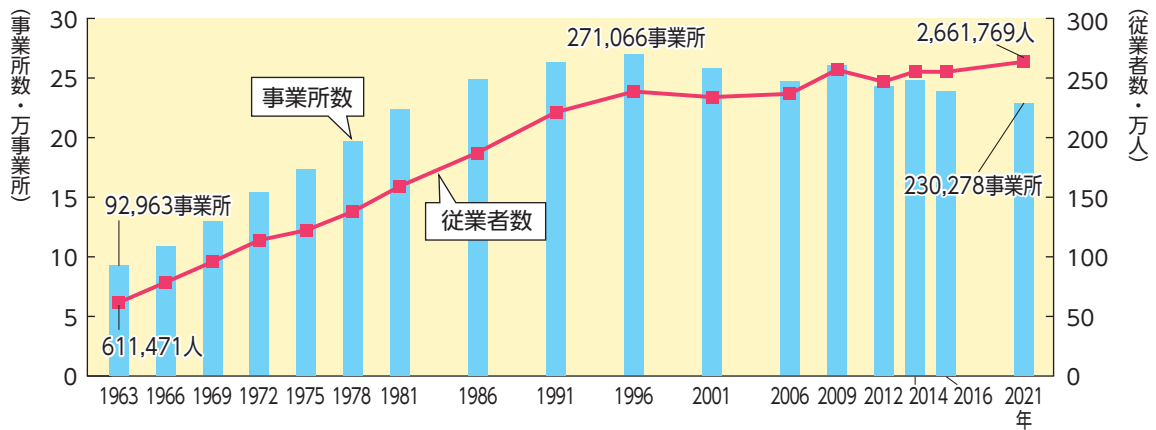


注1 昼夜間人口比率とは、常住人口(夜間人口)100人に対する昼間人口の割合をいう。
注2 常住人口(夜間人口)とは、調査時にふだん住んでいる場所における人口をいう。
注3 昼間人口とは、昼間活動している場所における人口のことで、常住人口から従業・通学(15歳未満通学者を含む)による流出人口及び流入人口を加減した数をいう。
資料：総務省統計局「国勢調査」

- ↑ 県外への通勤・通学者が多い本県の昼夜間人口比率(夜間人口100人に対する昼間人口の割合)は87.6で、全国で最も低い割合です。

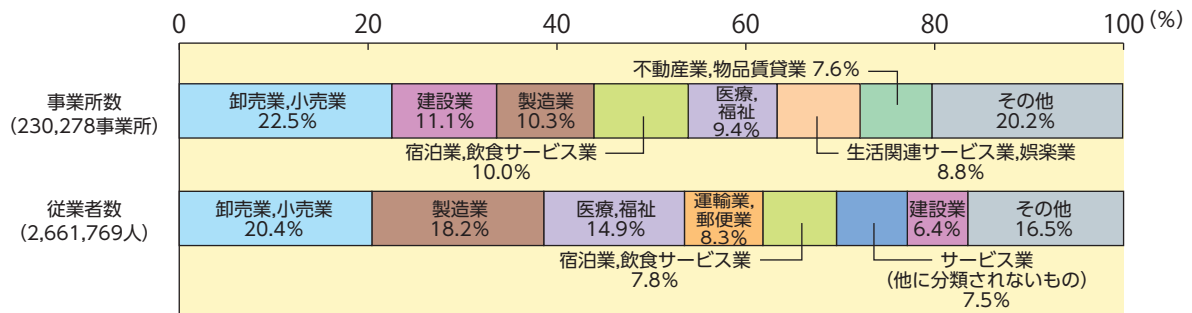
③ 事業所・労働

① 事業所数と従業者数の推移



注) 事業内容等不詳を除く、民営事業所の数値である。 資料：総務省統計局「事業所・企業統計調査」、「経済センサス-活動調査」

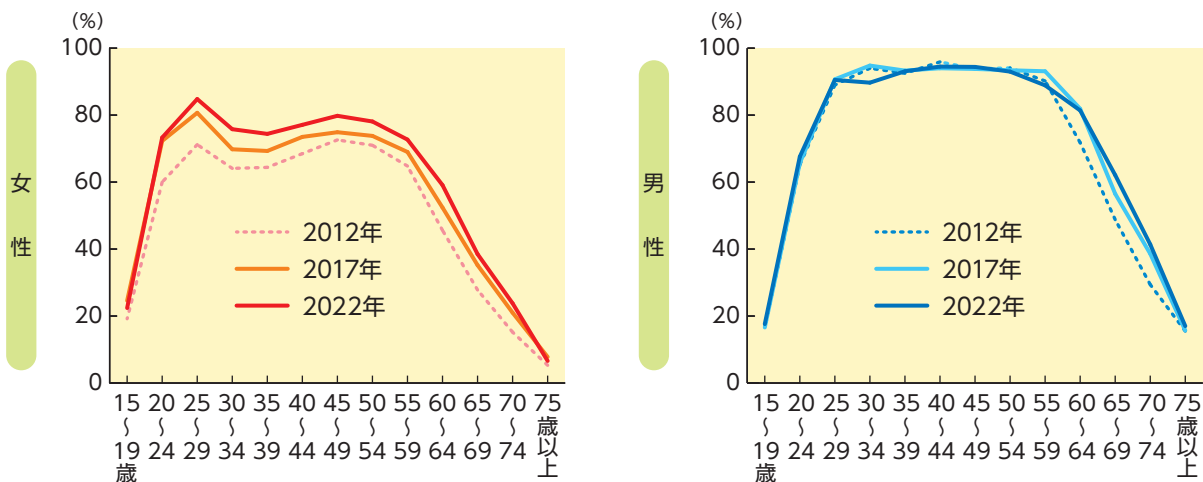
② 業種別の事業所数と従業者数の割合 (2021年6月1日現在)



注) 事業内容等不詳を除く、民営事業所の数値である。 資料：総務省統計局「経済センサス-活動調査」

- ↑ 事業所数が最も多い業種は「卸売業、小売業」(51,720事業所)で、次いで「建設業」(25,560事業所)、「製造業」(23,810事業所)の順となっています。
- 従業者数が最も多いのは「卸売業、小売業」(542,538人)で、「製造業」(484,268人)、「医療、福祉」(395,742人)の順に続いています。事業所数、従業者数とも全国5位でした。

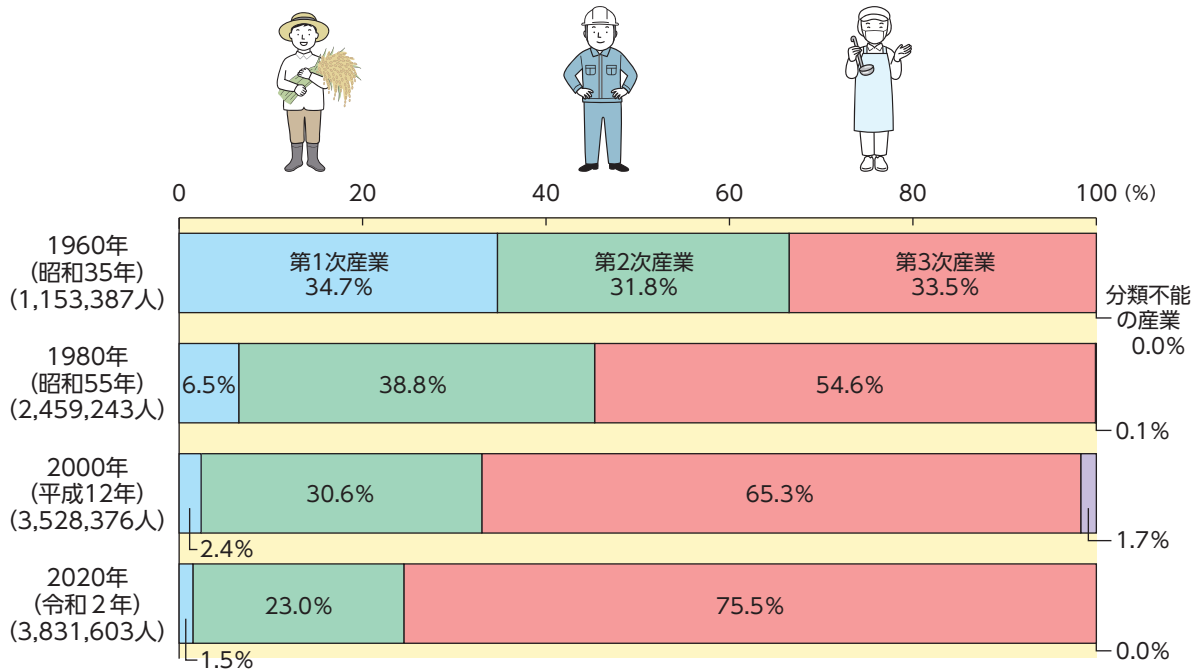
③ 男女別・年齢別の有業率 (各年10月1日現在)



注) 有業率とは、15歳以上に占める有業者の割合。 資料：総務省統計局「就業構造基本調査」

- ↑ 女性の有業率をみると、「25～29歳」と「45～49歳」の2つのピークを持つ「M」字形で、子育て世代である「30～39歳」がM字の底となっていますが、2017年から2022年で「20～74歳」で上昇していて、特に「30～39歳」と「60～64歳」で顕著な伸びを示しています。男性は2017年から2022年ではあまり大きな傾向の変化はありませんが、「30～34歳」と「55～59歳」は2017年と比べて減少しており、「65～74歳」の有業率は上昇しているのがわかります。

④ 産業3部門別の就業者(15歳以上)割合の推移 (各年10月1日現在)



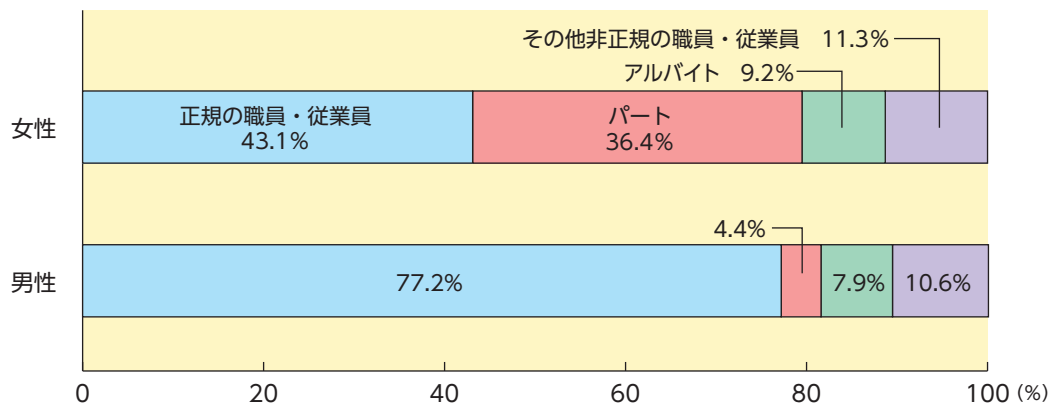
注) 令和2年は「分類不能の産業」の者について補完した数値を使用している。
資料: 総務省統計局「国勢調査」

「産業3部門」ってなあに？



第1次産業は、農業、林業、漁業。
第2次産業は、鉱業、採石業、砂利採取業、建設業、製造業。
第3次産業は、電気・ガス・熱供給・水道業、情報通信業、運輸業、郵便業、卸売業、小売業、金融業、保険業、不動産業、物品賃貸業、学術研究、専門・技術サービス業、宿泊業、飲食サービス業、生活関連サービス業、娯楽業、教育、学習支援業、医療、福祉、複合サービス事業、サービス業(他に分類されないもの)、公務(他に分類されるものを除く)。

⑤ 男女別就業形態 (2022年10月1日現在)

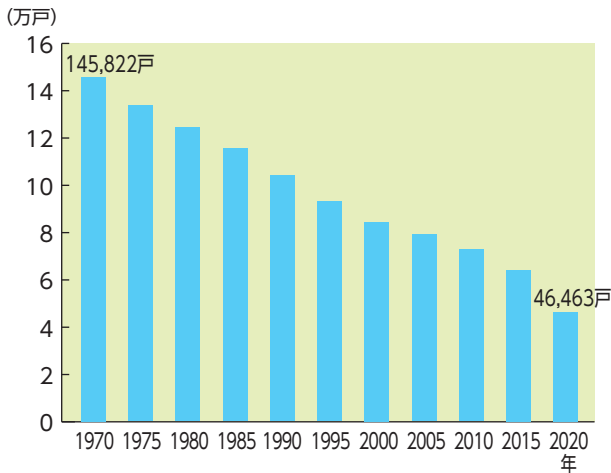


注1 会社などの役員を除く雇用者に対する割合。
2 その他非正規の職員・従業員には、契約社員、嘱託、労働者派遣事業所の派遣社員を含む。
資料: 総務省統計局「就業構造基本調査」

- 雇用者(会社などの役員を除く)のうち、パート、アルバイトなど非正規の雇用で働く人が2017年より約2.3万人減少しました。男性は428,200人(22.8%)、女性は901,600人(56.9%)が非正規で働いています。女性の非正規の比率は全国で5番目に高い値です。

4 農業

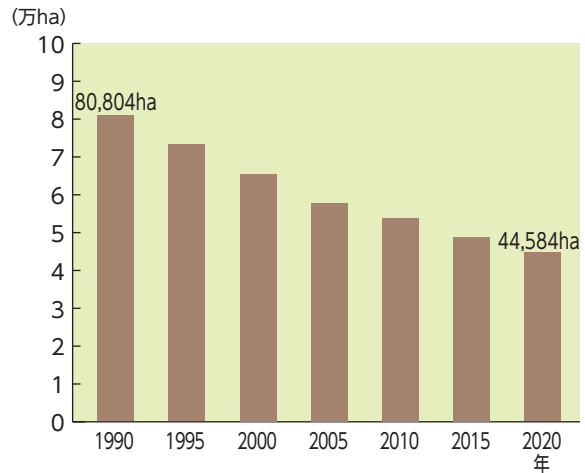
① 農家数の推移 (各年2月1日現在)



資料：農林水産省「農林業センサス累年統計」「2020年農林業センサス」

2020年2月1日現在の農家数は46,463戸で、50年前の1970年の3割程度まで減少しています。

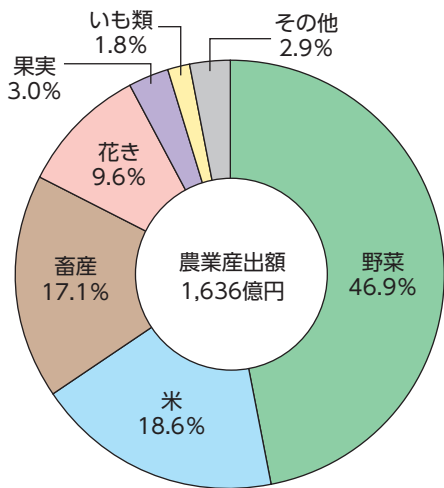
② 耕地面積の推移 (各年2月1日現在)



資料：農林水産省「農林業センサス累年統計」「2020年農林業センサス」

耕地面積は減少が続いており、2020年の面積は、30年前の1990年の6割以下になっています。

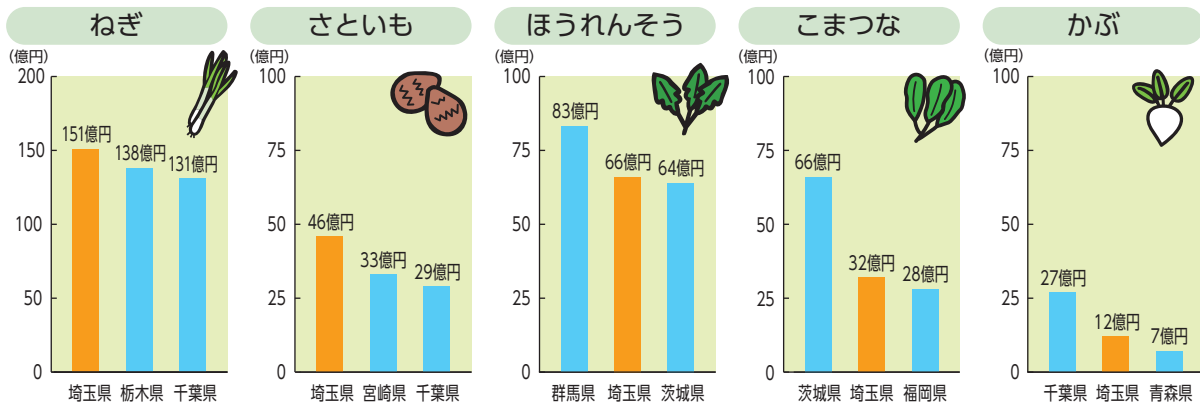
③ 部門別の農業産出額の割合 (2023年産)



本県の農業は、野菜・米・畜産が中心で、県内をはじめ首都圏の大消費地へ供給されています。特に野菜は全国有数の産地となっています。

資料：農林水産省「生産農業所得統計(確報)」

④ 産出額が全国で1位、2位の野菜 (2023年産)



注1 全国順位は数値が公表されている都道府県の中での順位。
 注2 資料作成機関(農林水産省)で順位付けしている。(100万円単位で順位付け)
 資料：農林水産省「生産農業所得統計(確報)」、県農業政策課「埼玉の食料・農林水産業・農山村」

花きでは、「パンジー」(5億円)が全国第1位でした。「ゆり(切り花)」(22億円)が全国第3位でした。

⑤ 主要農産物の産出額 (2023年産)

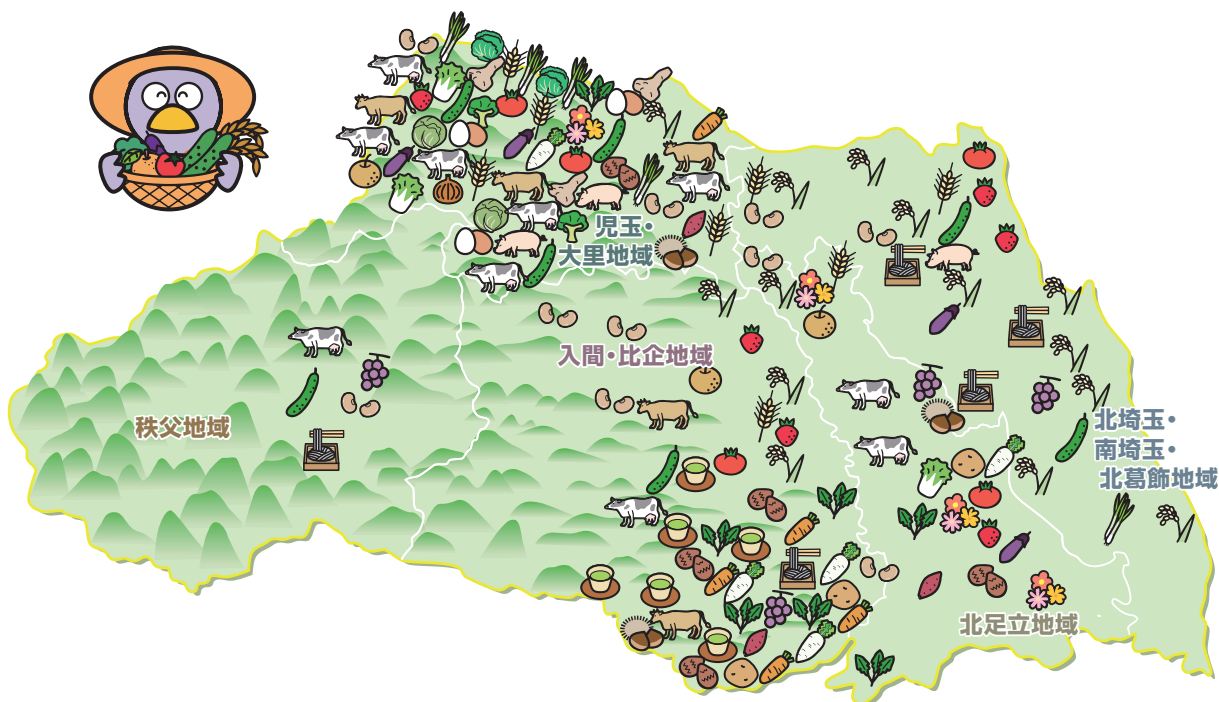
米 産出額 305 全国順位 19	小麦 産出額 13 全国順位 7	そば 産出額 1 全国順位 16	大豆 産出額 1 全国順位 30	かんしょ 産出額 11 全国順位 10	ばれいしょ 産出額 18 全国順位 7	スイートコーン 産出額 15 全国順位 8
えだまめ (未成熟) 産出額 36 全国順位 4	さやいんげん (未成熟) 産出額 6 全国順位 10	きゅうり 産出額 104 全国順位 4	なす 産出額 22 全国順位 8	トマト 産出額 46 全国順位 16	いちご 産出額 46 全国順位 12	キャベツ 産出額 17 全国順位 11
はくさい 産出額 13 全国順位 13	ほうれんそう 産出額 66 全国順位 2	ねぎ 産出額 151 全国順位 1	たまねぎ 産出額 3 全国順位 24	みつば 産出額 6 全国順位 5	しゅんぎく 産出額 5 全国順位 10	レタス 産出額 7 全国順位 19
ブロッコリー 産出額 40 全国順位 5	こまつな 産出額 32 全国順位 2	チンゲンサイ 産出額 5 全国順位 5	もやし 産出額 17 全国順位 6	だいこん 産出額 19 全国順位 12	かぶ 産出額 12 全国順位 2	にんじん 産出額 14 全国順位 10
ごぼう 産出額 4 全国順位 11	さといも 産出額 46 全国順位 1	やまのいも 産出額 9 全国順位 6	ぶどう 産出額 14 全国順位 23	日本なし 産出額 24 全国順位 11	くり 産出額 3 全国順位 8	茶 (生葉) 産出額 12 全国順位 7
パンジー 産出額 5 全国順位 1	ゆり (切り花) 産出額 22 全国順位 3	洋ラン類 (鉢) 産出額 27 全国順位 6	肉用牛 産出額 49 全国順位 34	乳用牛 産出額 59 全国順位 25	豚 産出額 69 全国順位 24	鶏卵 産出額 101 全国順位 24

主要農産物の産出額 (2023年産) 単位: 億円

- 注1 全国順位は数値が公表されている都道府県の中での順位。
 2 資料作成機関 (農林水産省) で順位付けしている。(100万円単位で順位付け。)

資料: 農林水産省「生産農業所得統計」、県農業政策課「埼玉の食料・農林水産業・農山村」

⑥ 地域別の主な農産物等



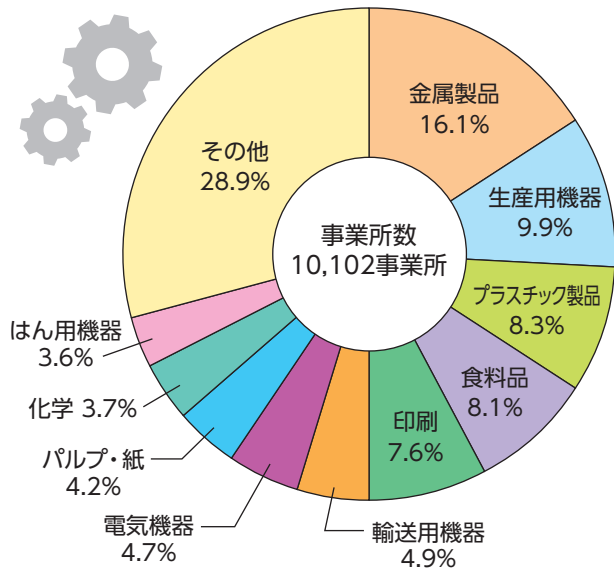
- ➡ 米や麦、野菜、果物、畜産物、花きなど、バラエティに富む農産物が県内各地で作られています。

- 注1 農林業センサスにおける農産物の作付面積等のデータを基に県で独自に作成したもの。
 2 地図上のアイコンは⑤と共通だが、農林業センサスの集計対象となっている主な農産物のみ表示している。
 なお、⑤にない(🌸)は「花き」を表している。

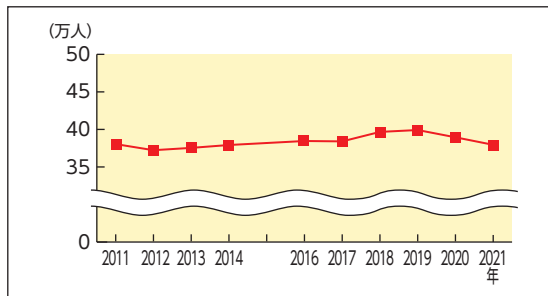
参考: 農林水産省「農林業センサス」

5 工業

① 産業別の事業所数の割合 (2021年6月1日現在)

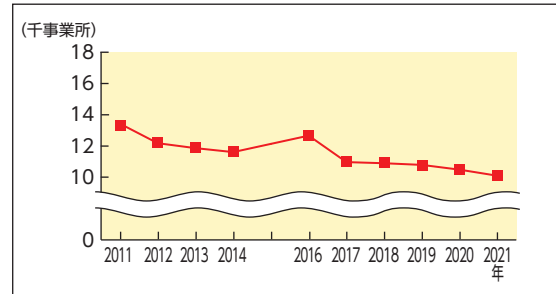


従業者数の推移

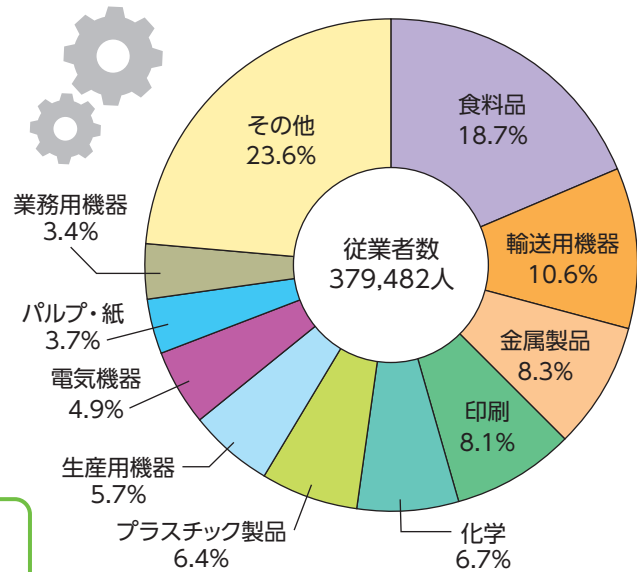


➡ 2020年1年間の製造品出荷額等は12兆8,630億円で、「食料品」、「輸送用機器」、「化学」の上位3業種で全体の44.2%を占めています。事業所数は全国3位、従業者数は全国4位、製造品出荷額等は全国6位でした。

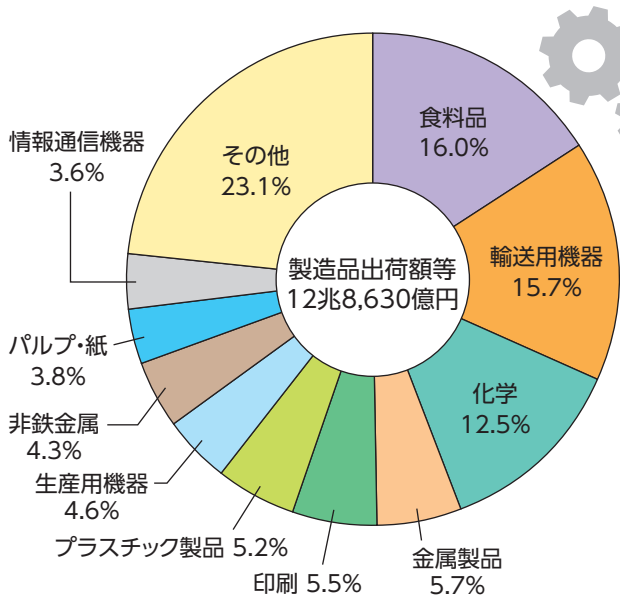
事業所数の推移



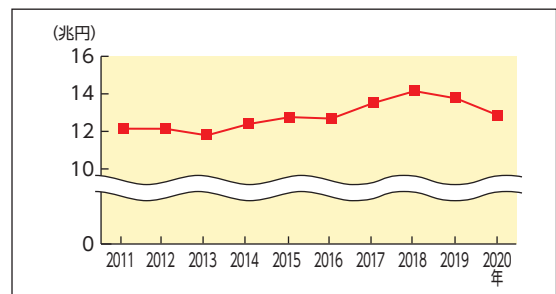
② 産業別の従業者数の割合 (2021年6月1日現在)



③ 産業別の製造品出荷額等の割合 (2020年)



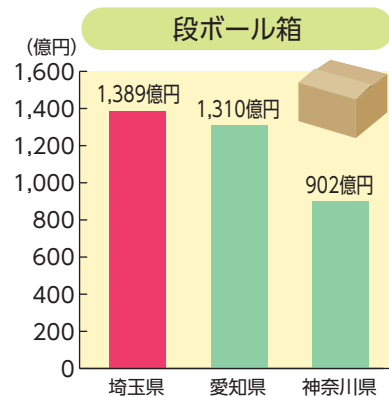
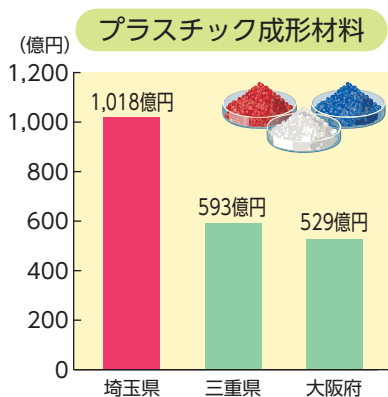
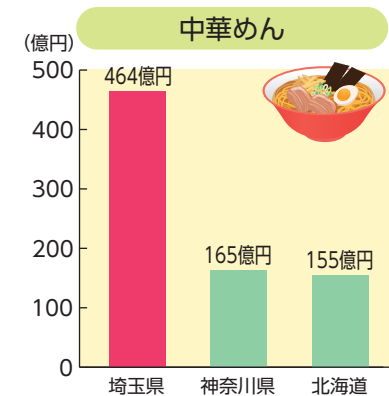
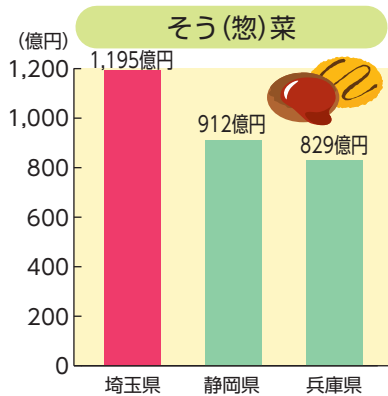
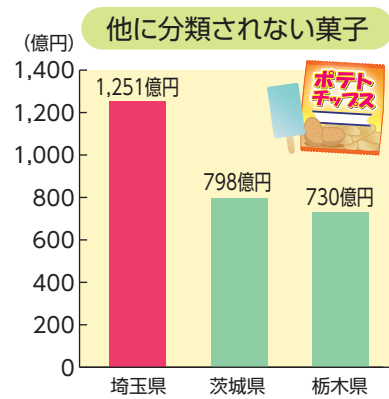
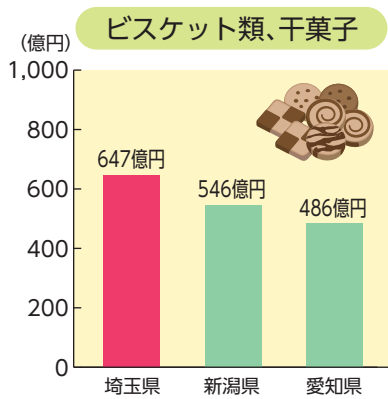
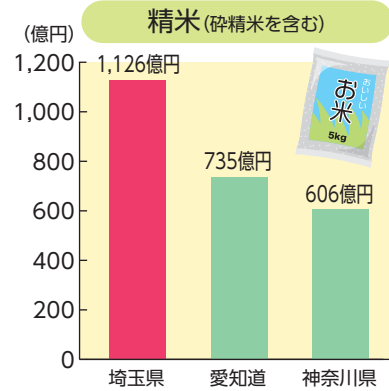
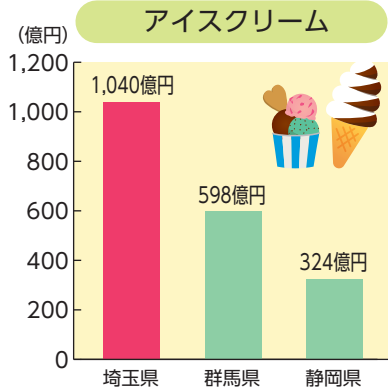
製造品出荷額等の推移



- 注) 1 従業者4人以上の事業所についての集計である。
 2 2015年の製造品出荷額等は、個人経営調査票による調査分を含まない。
 3 事業所数と従業者数は、2011年は2012年2月1日現在、2016年から2021年は6月1日現在、その他の年次は12月31日現在である。
 4 2011年、2016年、2021年は経済センサス活動調査の結果であり、それ以外の年は工業統計調査の結果である。経済センサス活動調査は個人経営を含まない集計結果であることから、工業統計調査と単純に比較ができないことに留意されたい。

資料：県統計課「令和3年経済センサス-活動調査 調査結果」

④ 主な製造品の出荷額 (全国で1位のもの) (2023年)

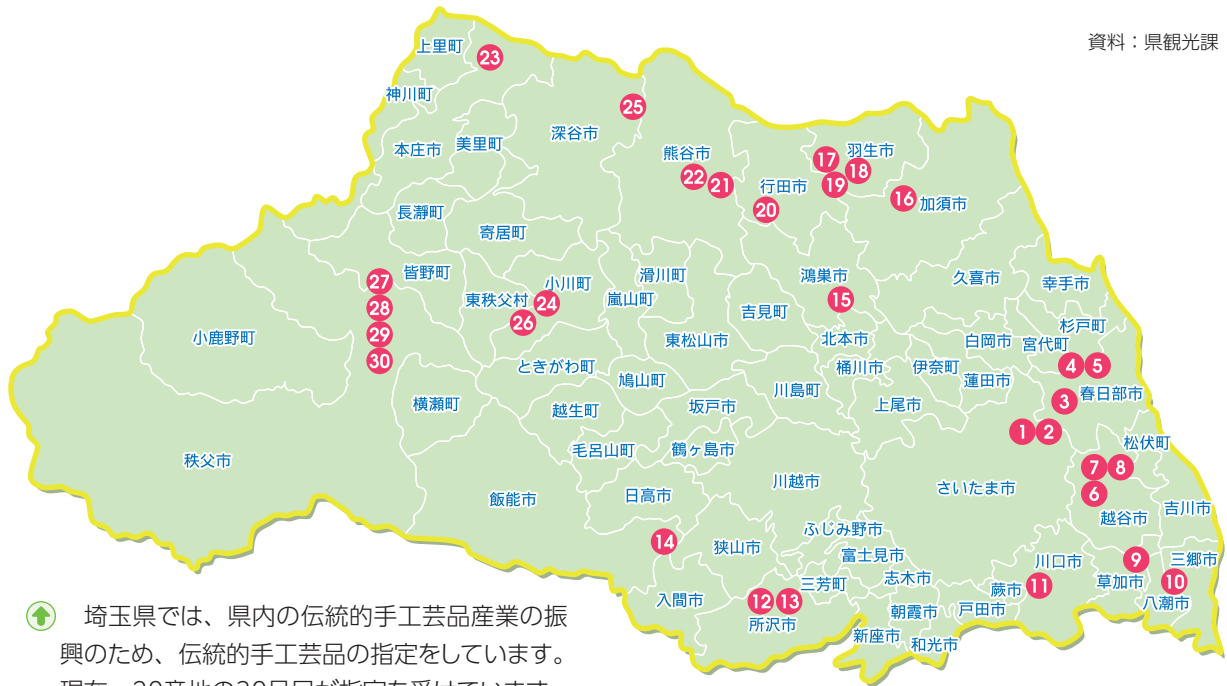


資料：経済産業省「2024年経済構造実態調査 製造業事業所調査」

④ このほか、「すし、弁当、おにぎり」(1,375億円)、「双眼鏡」(30億円)、「和風めん」(325億円)、「調理パン、サンドイッチ」(526億円)、「節句人形、ひな人形」(38億円)、「テニス・卓球・バドミントン用具」(229億円)などが全国第1位です。

⑤ 伝統的手工芸品

資料：県観光課



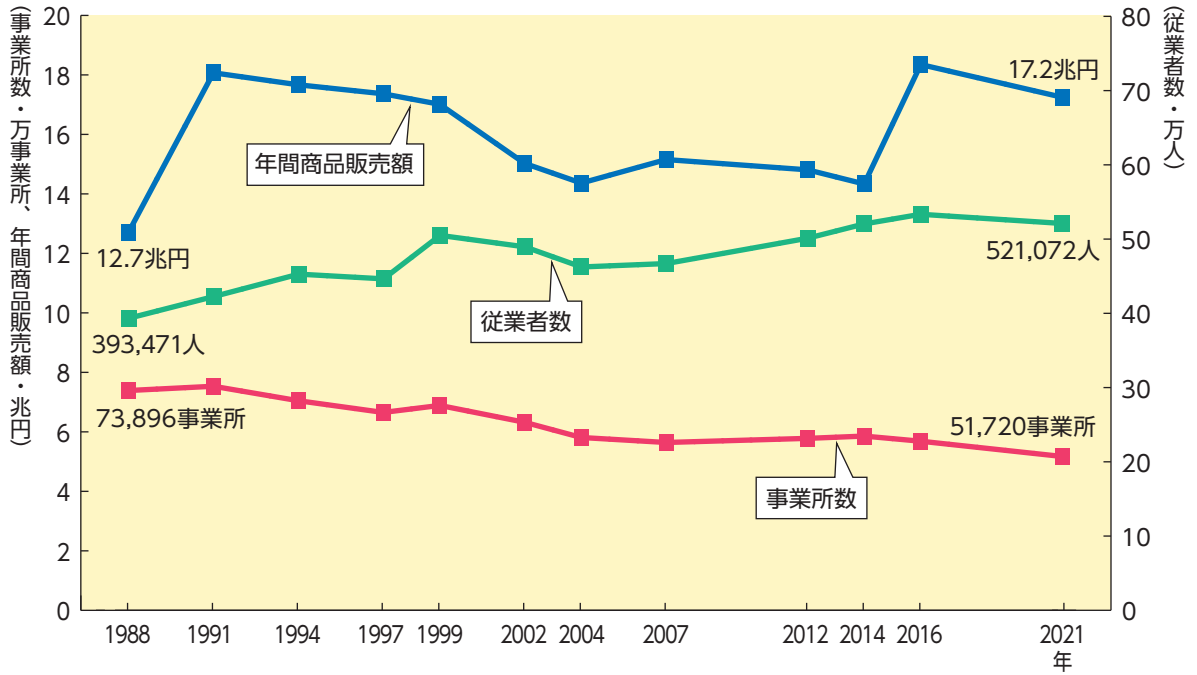
埼玉県では、県内の伝統的手工芸品産業の振興のため、伝統的手工芸品の指定をしています。現在、20産地の30品目が指定を受けています。

	1 岩槻人形		2 江戸木目込人形		3 春日部桐箆箱
	4 春日部桐箱		5 春日部押絵羽子板		6 越谷ひな人形
	7 越谷甲冑		8 越谷張子だるま		9 本染ゆかた(注染)
	10 本染ゆかた(長板中型)		11 竹釣竿		12 所沢人形(雛人形)
	13 所沢人形(押絵羽子板)		14 飯能大島紬		15 鴻巣びな
	16 手がき鯉のぼり		17 武州正藍染(武州唐棧)		18 武州正藍染(武州型染)
	19 武州正藍染(武州紺織)		20 行田足袋		21 熊谷染(友禪)
	22 熊谷染(小紋)		23 本庄織物(本庄緋)		24 鬼瓦
	25 武州磨き本瓦		26 小川和紙(細川紙)※		27 秩父銘仙
	28 秩父ほぐし捺染(着尺)		29 秩父ほぐし捺染(夜具地)		30 秩父ほぐし捺染(座布団地)

※細川紙 小川町・東秩父村周辺で古くから作られてきた小川和紙は1300年の歴史があるといわれています。中でも細川紙は楮(こうぞ/クワ科の植物)のみを原料とし伝統的な製紙用具で作られています。「石州半紙」(島根県)、「本美濃紙」(岐阜県)とともに「和紙：日本の手漉(てすき)和紙技術」としてユネスコ(国連教育科学文化機関)無形文化遺産になりました。

6 商業・観光

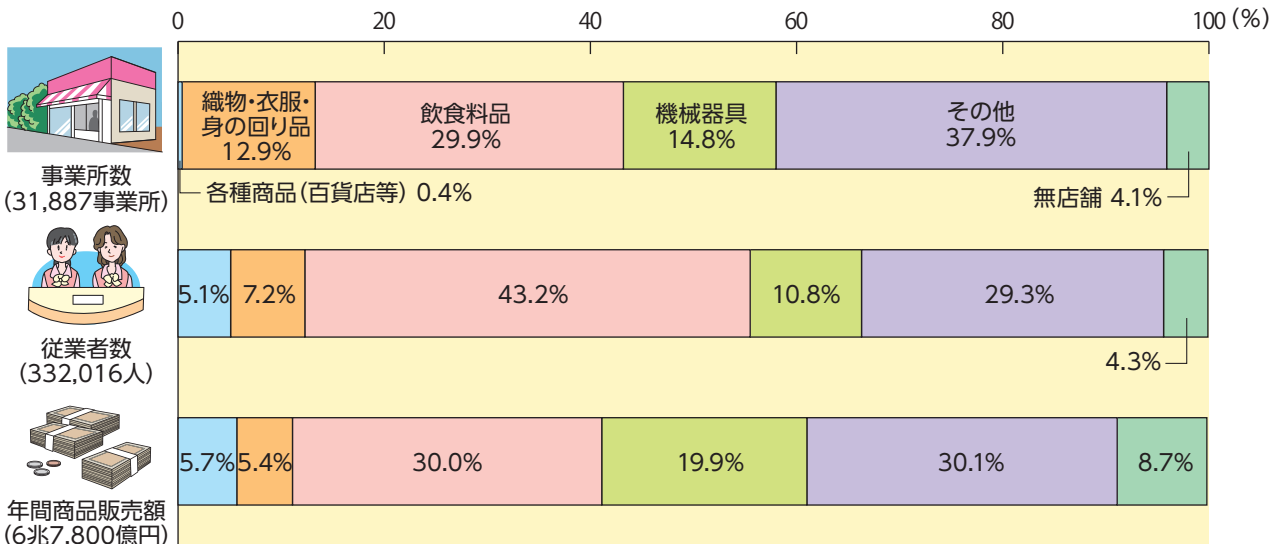
① 商業事業所数・従業者数・年間商品販売額の推移



1988年と比較すると、従業者数は13万人、年間商品販売額は4兆5,377億円増加していますが、事業所数は2万2千事業所減少しています。
 なお、2021年6月1日現在の事業所数は全国6位、従業者数は全国5位、2020年の年間商品販売額は全国7位でした。

注)1 小売業と卸売業の合計。
 2 年間商品販売額は前年1月1日から12月31日までの1年間のもので、消費税を含む。
 資料：総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」、経済産業省「商業統計調査」

② 小売業の業種別の事業所数、従業者数と年間商品販売額の割合 (2021年6月1日現在)



注)1 小売業の数値。小売業とは、主として個人用または家庭用消費者のために商品を販売する事業所等をいう。
 2 年間商品販売額は、2020年1月1日から2020年12月31日までの1年間のもので、消費税を含む。
 資料：総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」、県統計課「令和3年経済センサス-活動調査 産業別集計(卸売業、小売業)」

小売業を業種(産業中分類)別に見ると、事業所数、従業者数、年間商品販売額ともに「飲食料品」が大きな割合を占めています。「飲食料品」の従業者数は143,519人で全体の4割ですが、年間商品販売額は2兆354億円です。

③ 市町村別の可住地面積当たり年間商品販売額 (2020年)

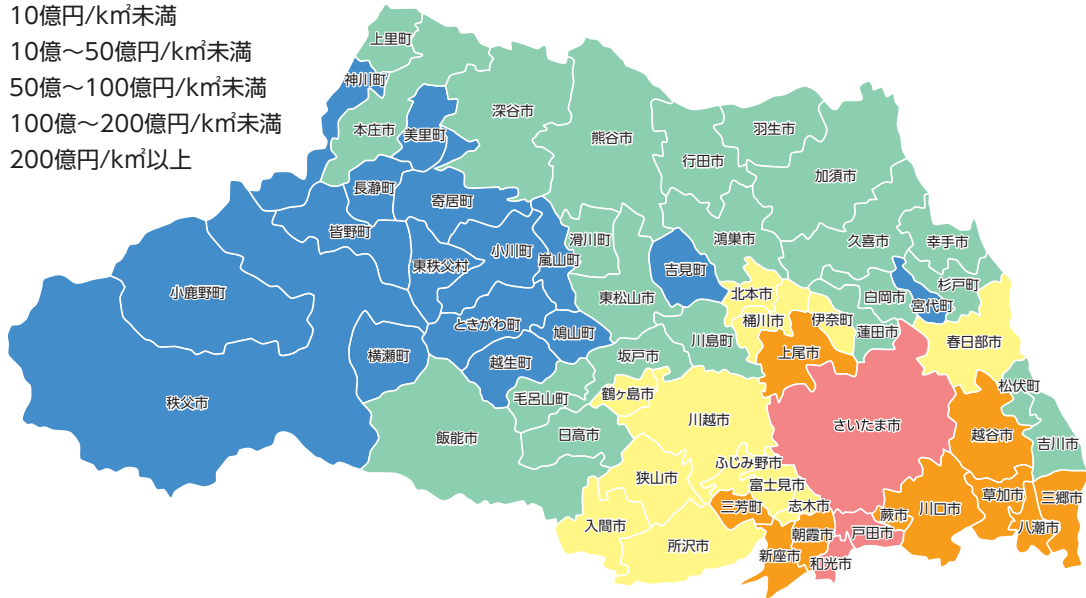
10億円/km²未満

10億～50億円/km²未満

50億～100億円/km²未満

100億～200億円/km²未満

200億円/km²以上

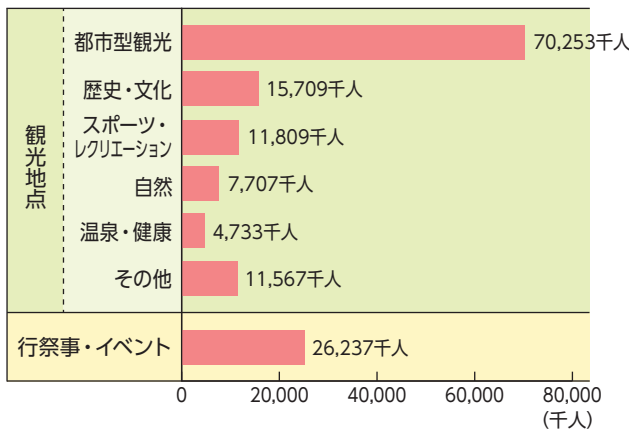


↑ 可住地1平方キロメートル当たりの年間商品販売額が100億円を超える市町村は、さいたま市など県の南部に集中しています。

注1 小売業と卸売業の合計。卸売業とは、小売業者または他の卸売業者に商品を販売する事業等をいう。
2 可住地面積は総面積から林野面積と主要湖沼面積を差し引いた面積をいう。

資料：総務省・経済産業省「経済センサス活動調査」、可住地面積は総務省統計局「統計でみる市区町村のすがた2022」

④ 観光地点別、行祭事・イベント別の観光入込客数 (2024年)



注1 観光地点及び行祭事・イベントの入込客数を施設の種類別に集計した数値。

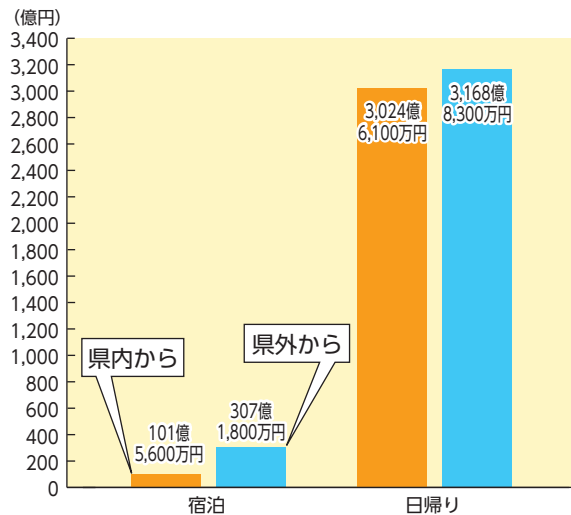
2 延べ人数であり、観光地点等ごとの重複を含む。

資料：県観光課「埼玉県観光入込客統計」

↑ 2024年中の県内の「観光地点別、行祭事・イベント別」の観光入込客数は、観光地点で1億2,177万7千人、行祭事・イベントで、2,623万7千人でした。



⑤ 観光消費額 (日本人の観光目的) (2024年)



注1 観光消費額＝観光入込客数×観光消費額単価
・観光入込客数は実人数であり、観光地点等ごとの重複を除いた数値。1人の観光入込客が県内の複数の観光地点を訪れたとしても、1人1回とする。
・観光消費額単価 (円/人・回) は、観光入込客1人の1回の旅行における観光に係る消費額。

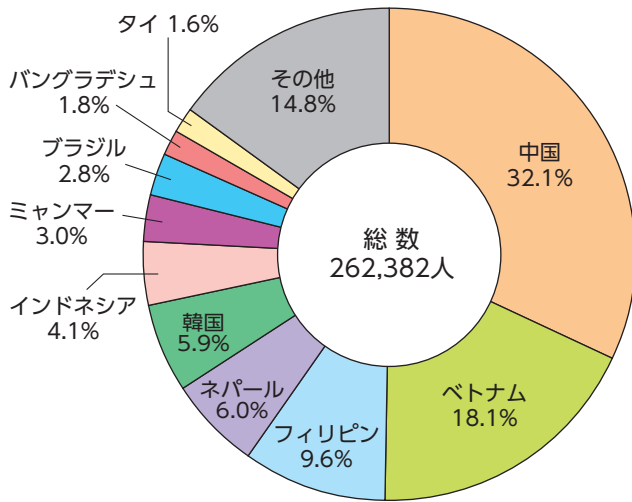
2 観光地点等入込客数調査、観光地点パラメータ調査及び宿泊旅行統計調査(観光庁提供)、旅行・観光消費動向調査(観光庁提供)をもとに推計した数値。

資料：県観光課「埼玉県観光入込客統計」

↑ 2024年中の県内観光消費額(日本人観光目的)は、県内からの旅行者が3,126億1,700万円、県外からの旅行者が3,476億100万円でした。

7 国際化

① 国籍・地域別在留外国人の割合 (2024年12月31日現在)

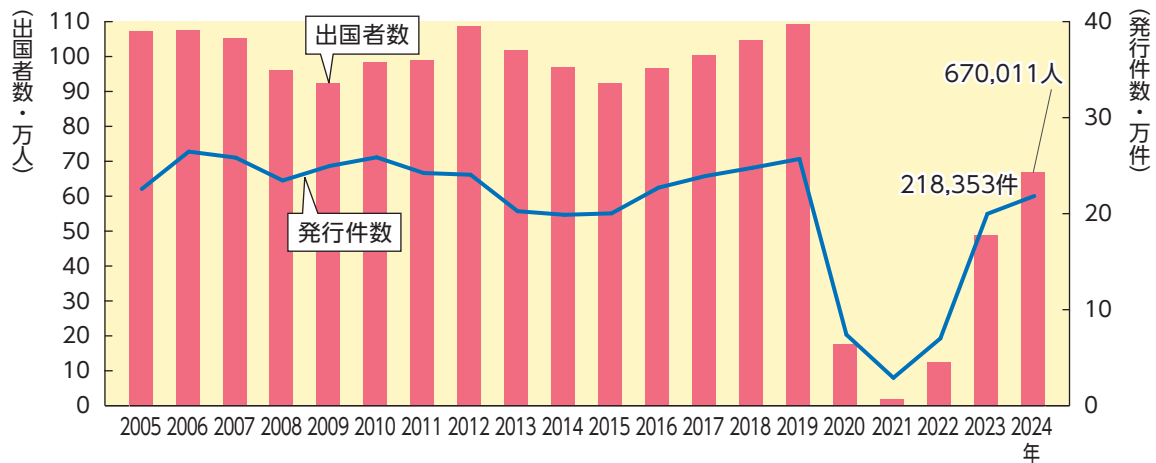


2024年12月31日現在の在留外国人数は、262,382人(無国籍を含む166か国・地域)でした。国籍別では、中国、ベトナム、フィリピンなど近隣のアジア諸国が多くなっています。

注) 在留外国人数は中長期在留者に特別永住者を加えた人数である。
資料: 出入国在留管理庁「在留外国人統計」



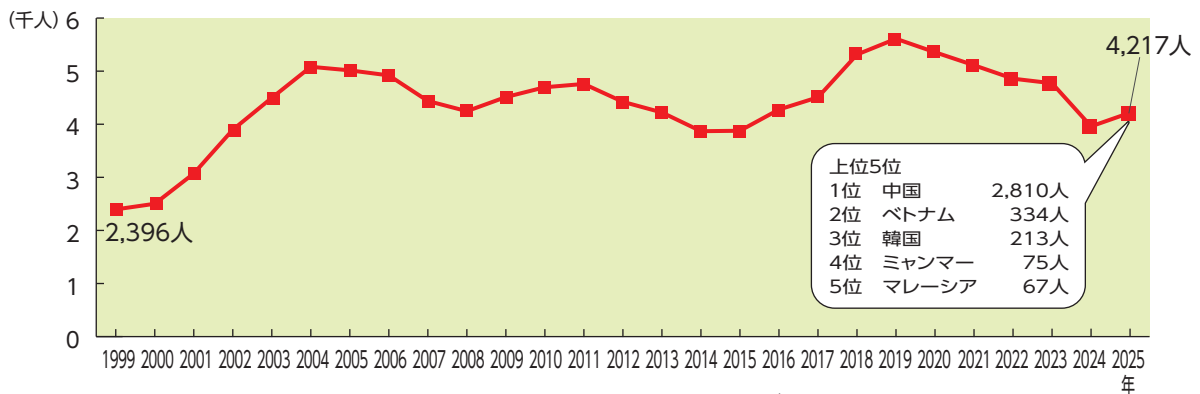
② パスポートの発行件数と出国者数の推移



注) 出国者数は、埼玉県に住所をおく日本人の数である。
資料: 出入国在留管理庁「出入国管理統計」、県パスポートセンター「事務概要」

🌞 埼玉県の1日 🌙 パスポート発行件数 597件、出国者数 1,831人

③ 県内の外国人留学生数の推移 (各年5月1日現在)



1位	中国	2,810人
2位	ベトナム	334人
3位	韓国	213人
4位	ミャンマー	75人
5位	マレーシア	67人

注) 埼玉県内の大学・短期大学及び短期大学部の外国人留学生数である。
資料: 埼玉県留学生交流推進協議会「外国人留学生数等 調査結果」(埼玉大学HP)

2000年の「出入国管理及び難民認定法」改正による在留資格の緩和を受けて、2001年～2004年にかけて大幅に増加しました。その後は増減を繰り返し、近年は減少傾向で推移していましたが、2025年は前年と比べて257人の増加となりました。

8 運輸・通信

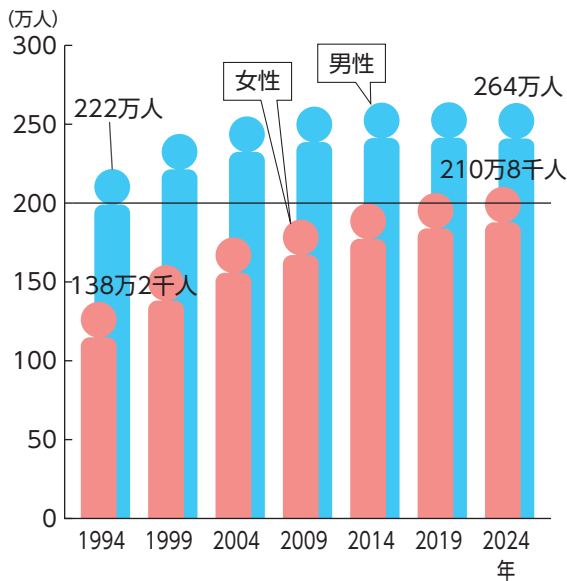
① 一般国道の主な地点の平日24時間交通量 (2021年)



注1 調査時間は、平日の午前7時～翌日午前7時または午前0時～翌日午前0時。
 2 道路の開通状況等は、調査時点のものである。
 資料：国土交通省「令和3年度全国道路・街路交通情勢調査」
 県国土整備政策課「埼玉県道路網図(令和5年4月版)」

📌 2秒間に1台の割合で通った場合、24時間で4.32万台の交通量になります。

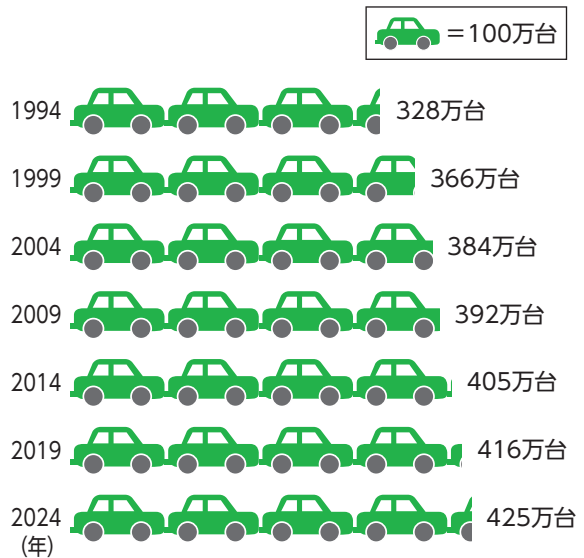
② 運転免許保有者数の推移 (各年12月31日現在)



資料：警察庁「運転免許統計」、
県警察本部「交通事故統計資料[HANDBOOK]」

📌 2024年12月31日現在の運転免許保有者数は約474万7千人で、そのうち44.4%が女性です。

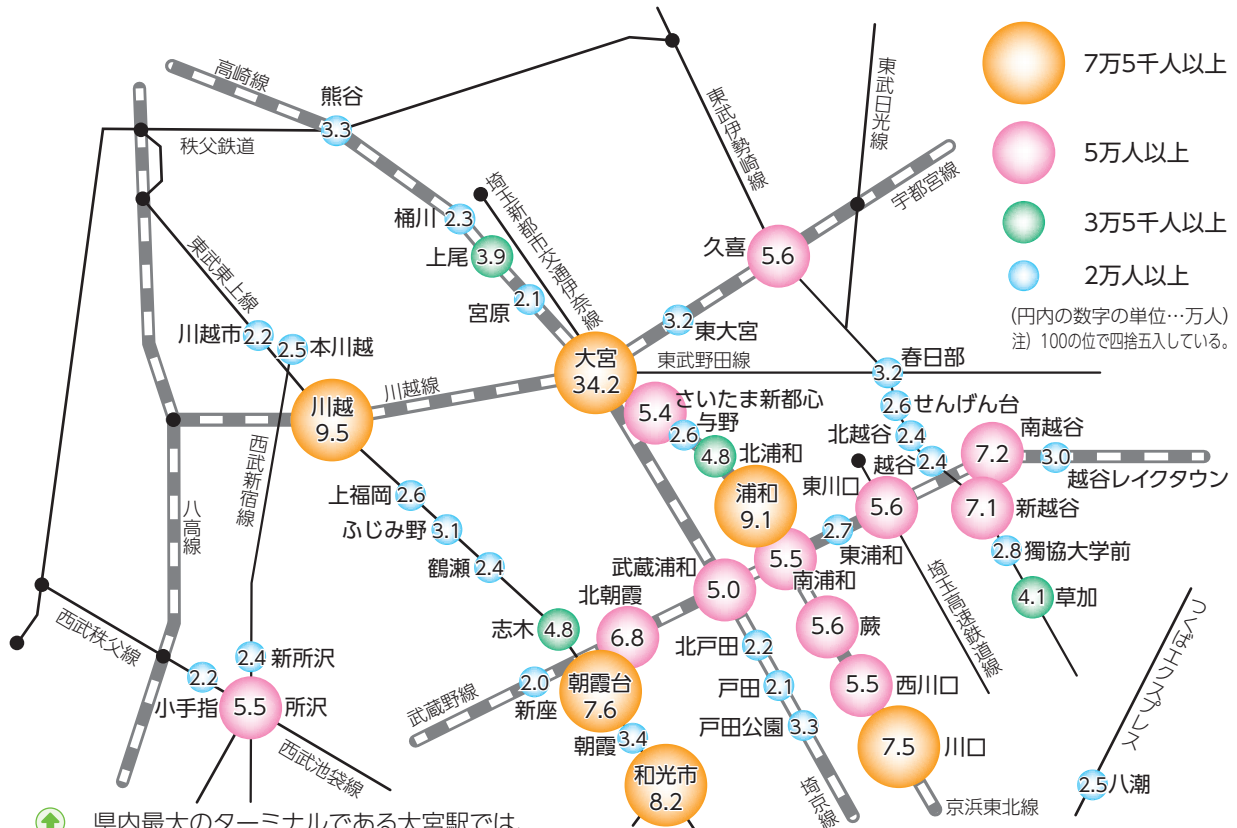
③ 自動車の保有台数の推移 (各年12月31日現在)



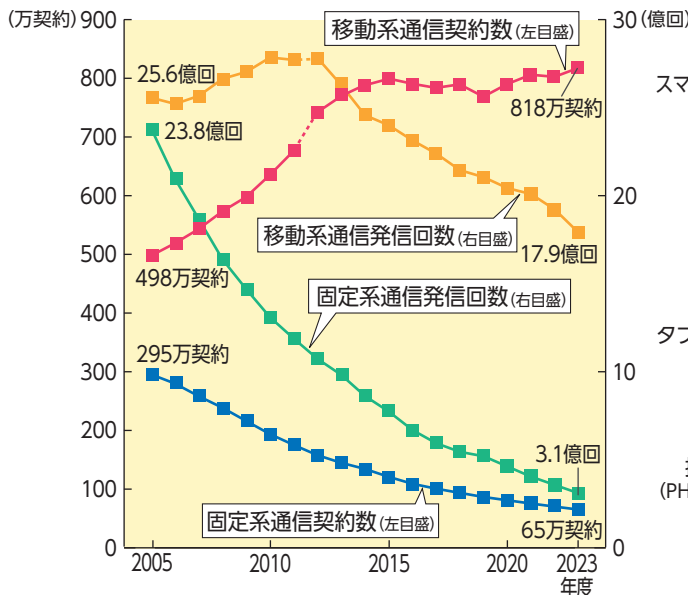
注) 登録自動車(貨物車、乗合車、乗用車、特種用途車、大型特殊車)、小型二輪車、軽自動車の合計である。
 資料：関東運輸局埼玉運輸支局、
 県警察本部「交通事故統計資料[HANDBOOK]」

📌 2024年12月31日現在の自動車の保有台数は4,251,563台で、30年前の1994年と比べると約1.3倍に増加しています。

④ 主な駅の1日当たりの乗車人数 (2024年度)



⑤ 電話契約数と音声通信発信回数の推移 (各年度末現在)

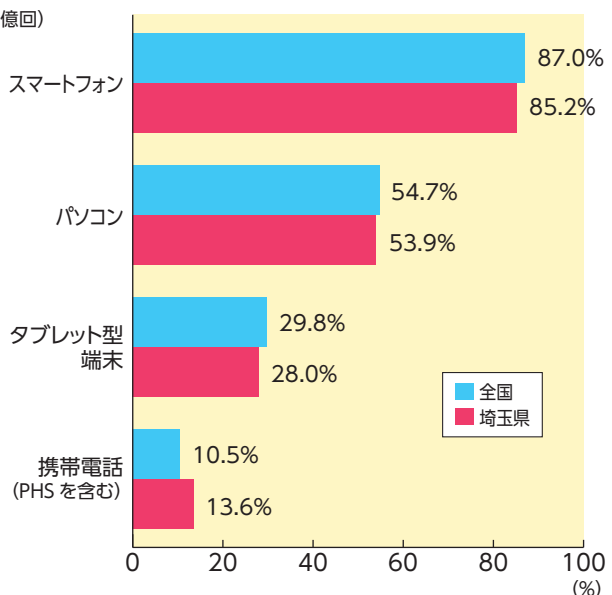


注) 1 2011年度以前の移動系通信は携帯電話の集計であり、PHSは含まない。
 2 移動系通信にはスマートフォンも含まれる。
 資料：総務省総合通信基盤局「通信量からみた我が国の音声通信利用状況」

↑ 固定系通信 (加入電話とISDN) は、契約数・音声通信発信回数とともに減少し続けています。

移動系通信 (携帯電話とPHS) の契約数は2015年以降横ばいになりつつありますが、2020年以降はやや増加傾向にあります。音声通信発信回数は減少を続けており、電話によるコミュニケーションが減少していることがうかがえます。

⑥ 端末別インターネットの利用率 (2024年8月31日現在)



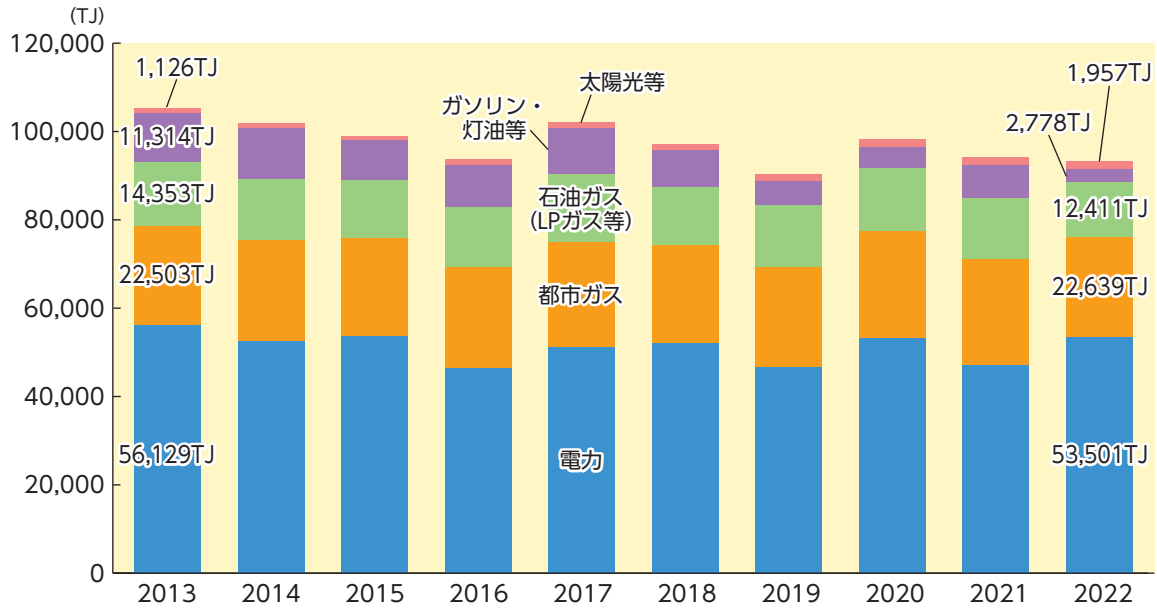
注) 端末別利用率は過去1年間にインターネット利用経験があると回答した人に対する割合である。

資料：総務省情報流通行政局「通信利用動向調査」

↑ 2024年8月31日現在、埼玉県の過去1年間のインターネット利用率は88.4%でした。端末別にみると、「スマートフォン」が「パソコン」を上回っています。

9 電気・ガス・上下水道

① 家庭におけるエネルギー源別消費量の推移



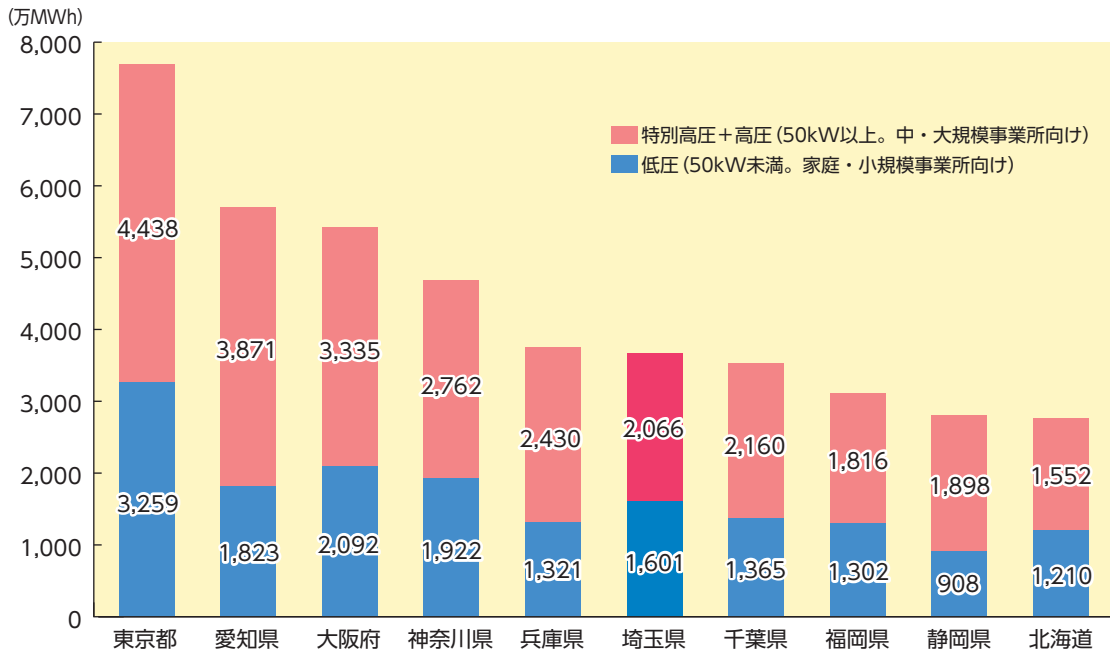
家庭におけるエネルギー消費量はやや減少傾向にあります。

2022年度における家庭におけるエネルギー源の57.4%を電気が占めています。

注) TJはテラ・ジュールの略号。発熱量を表す国際的な単位ジュール(J)の1兆倍。

資料：資源エネルギー庁「都道府県別エネルギー消費統計」

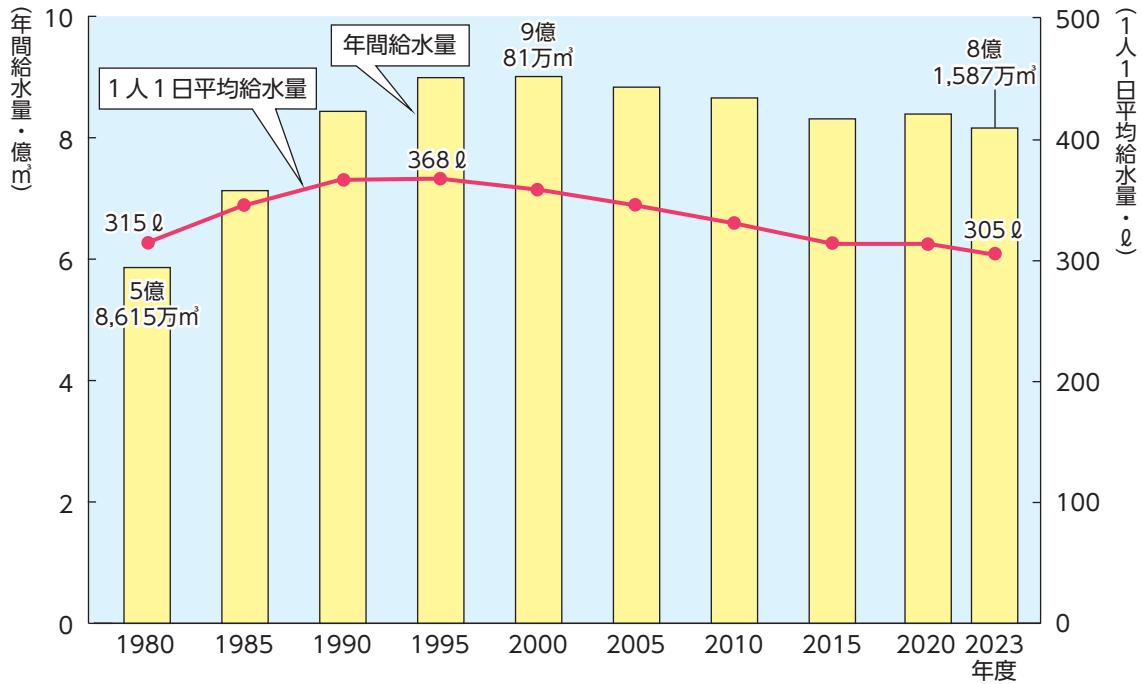
② 電力使用量 (使用量の多い上位10都道府県・2024年度)



Wh(ワット時)は、電気の使用量(電力量)の単位です。
 電力(電気が仕事をする力)と使った時間の積で表します。
 電力量(Wh)=電力(W)×時間(h)
 ※1Whの100万倍が1MWh(メガワット時)です。

資料：資源エネルギー庁「電力調査統計」

③ 上水道の年間給水量と1人1日平均給水量の推移

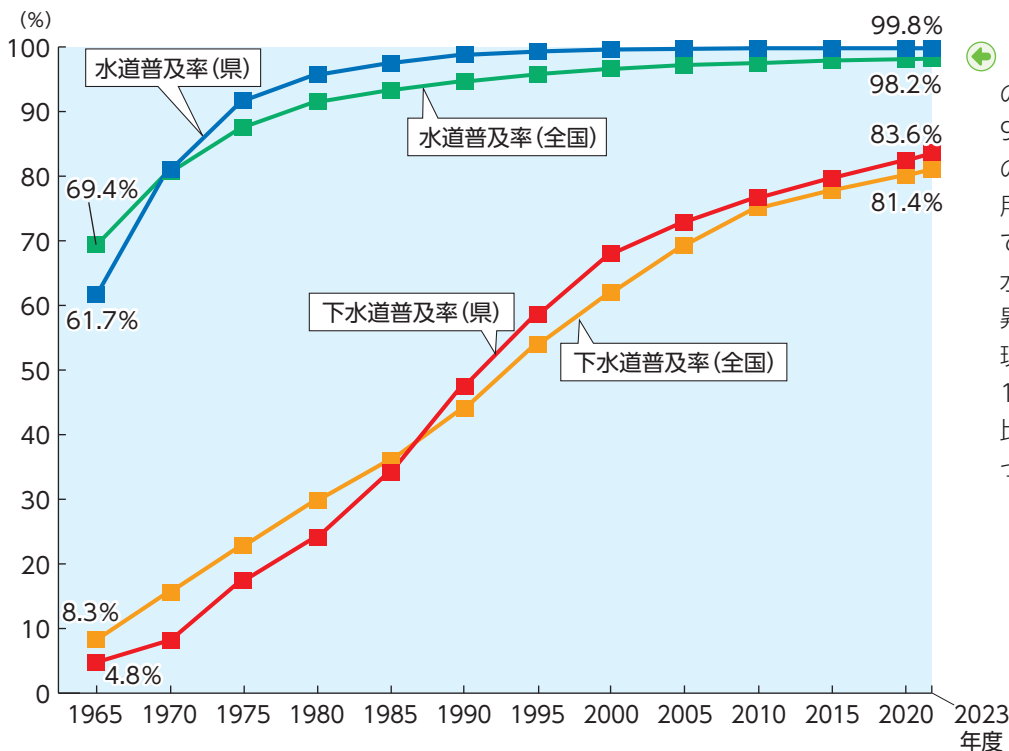


注)1 上水道とは、計画給水人口5,001人以上の水道をいう。
2 給水人口は各年度末現在。

$$3 \text{ 1人1日平均給水量} = \frac{\text{実績年間給水量}}{\text{年間日数} \times \text{現在給水人口}}$$

資料：県生活衛生課「埼玉県の水道」

④ 水道と下水道の普及率の推移 (各年度末現在)



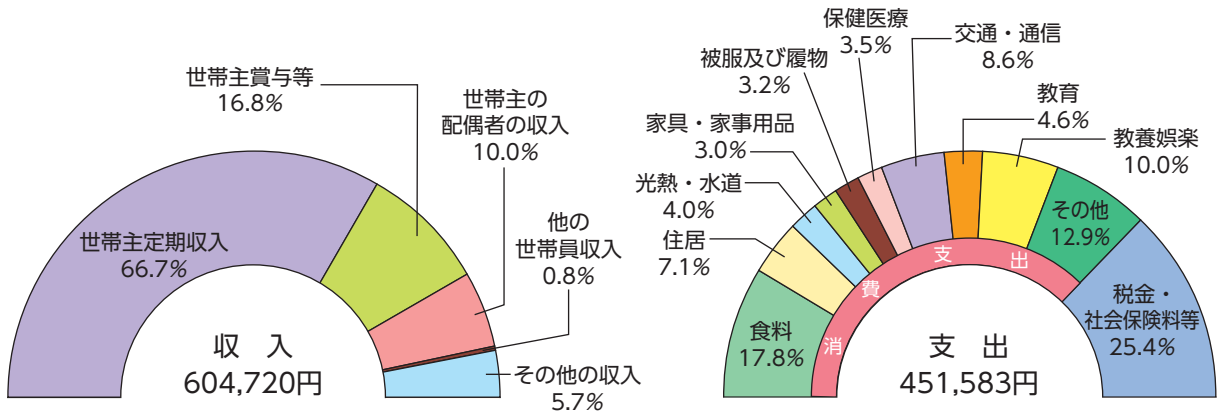
➡ 2023年度末現在の水道普及率は99.8%で、ほとんどの県民が水道水を利用できるようになっています。また、下水道普及率も年々上昇し、2023年度末現在は83.6%で、1965年度(4.8%)と比べると17.4倍になっています。

注) 下水道普及率(全国)は参考値

資料：厚生労働省「水道の基本統計」、国土交通省「令和5年度末の污水处理人口普及状況について」
県下水道管理課「埼玉の下水道2024(2023年度)」
埼玉県の水道 令和6年度版(令和5年度水道統計調査資料)

10 暮らし

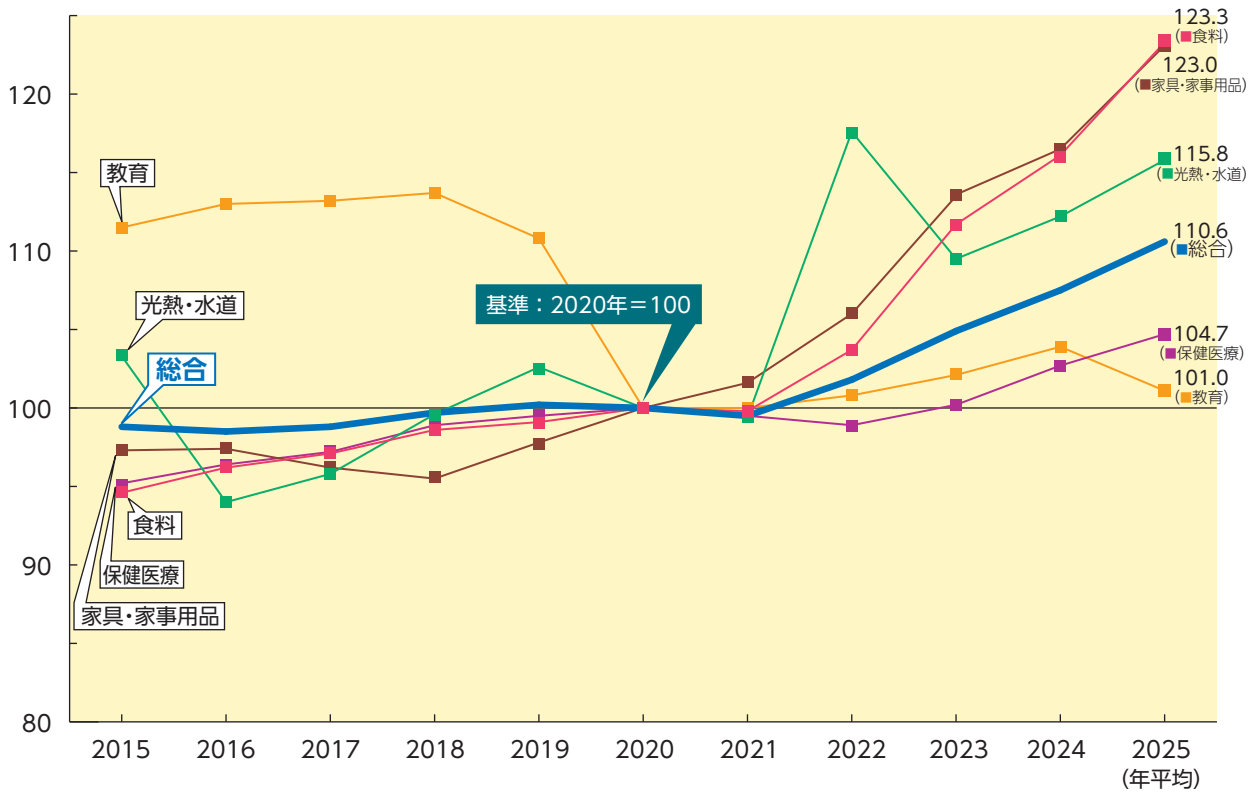
① 1世帯当たり1か月間の収入と支出(さいたま市・勤労者世帯) (2024年平均)



注) 収入とは、一般に言われる税込み収入のことで、世帯員全員の現金収入の合計である。支出とは、消費支出(生活費)と税金や社会保険料等の合計である。
資料：総務省統計局「家計調査」

📌 1世帯当たりの1か月間の支出は451,583円、そのうち食料費は80,294円で、エンゲル係数(消費支出337,033円に占める食料費の割合)は23.8%でした。なお、全国の数値は、26.5%です。

② 消費者物価指数(さいたま市・2020年=100)



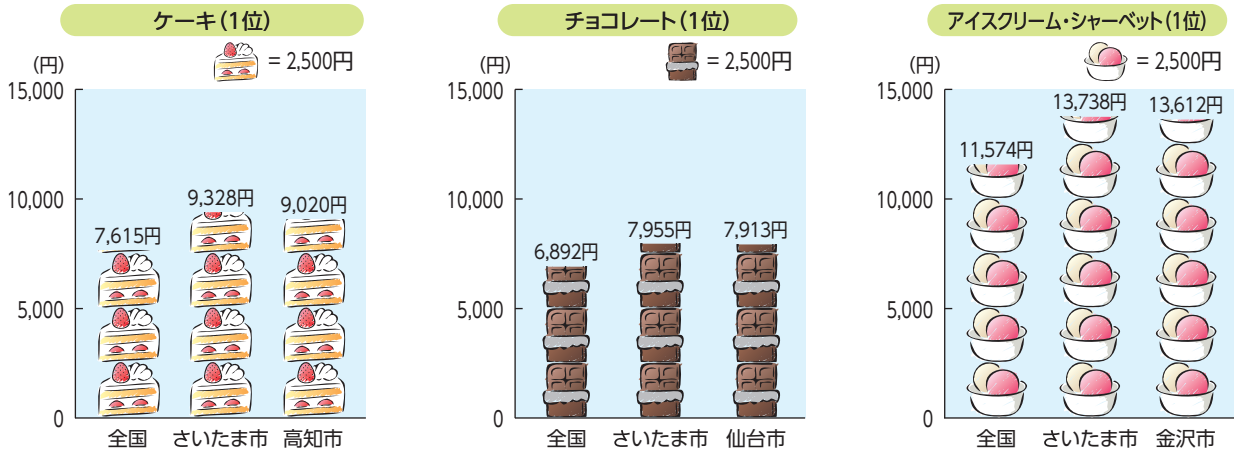
「消費者物価指数」ってなあに？

資料：総務省統計局「消費者物価指数」



消費者物価指数は、私たち消費者が購入するたくさんの商品の価格の変化を総合し、平均的な物価の動きをみるための指標です。基準となる時点の物価を100とし、そこから物価がどの程度上昇又は下落したかを表しています。

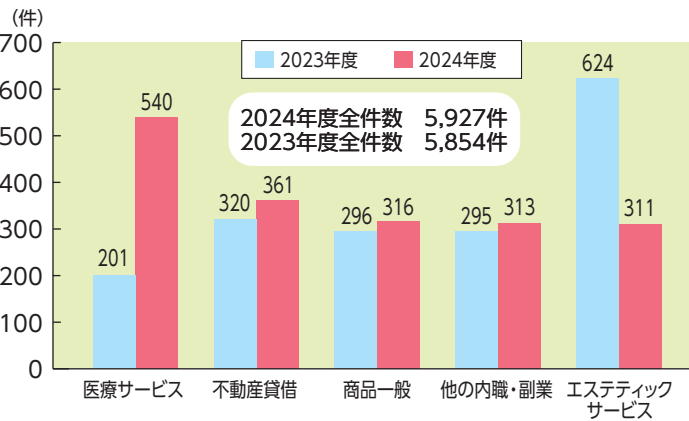
③ 購入金額が全国で上位の食料品(さいたま市)



↑ このほかにも生鮮野菜では「ブロッコリー」、調理食品では「おにぎり等」が1位となっています。

注) 1世帯当たりの年間購入金額(2022年~2024年平均)を都道府県庁所在地及び政令指定都市別に集計したものである。
資料: 総務省統計局「家計調査」

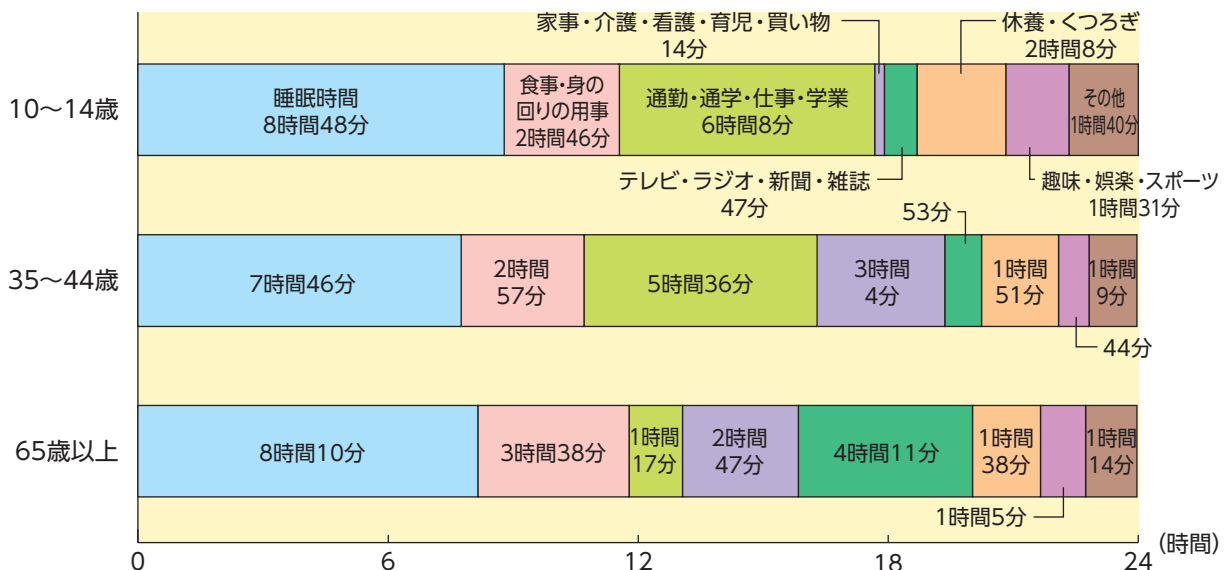
④ 若者の消費生活相談の相談件数(上位5項目)(2023年度・2024年度)



➡ 商品・サービス別にみると、「医療サービス」が339件増加しました。相談内容として大手事業者の倒産や休業に伴う解約や返金に関するものが多く寄せられています。前年度に相談の多かった「エステティックサービス」については前年度に比べ313件減少しました。

注) 契約当事者が29歳以下の集計。
資料: 県消費生活支援センター「埼玉県消費生活相談年報」

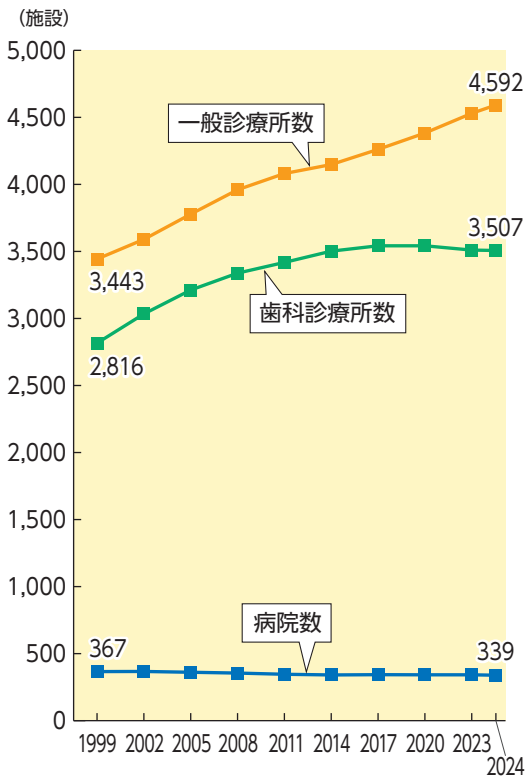
⑤ 1日の生活時間(2021年10月)



注) 10歳以上の人の1週間の平均値。
資料: 総務省統計局「社会生活基本調査」

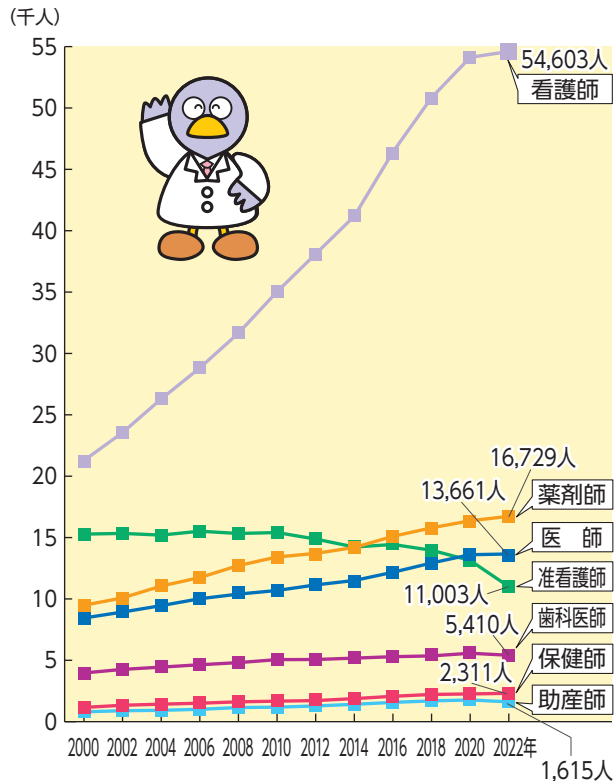
11 保健・福祉

① 医療施設数の推移 (各年10月1日現在)



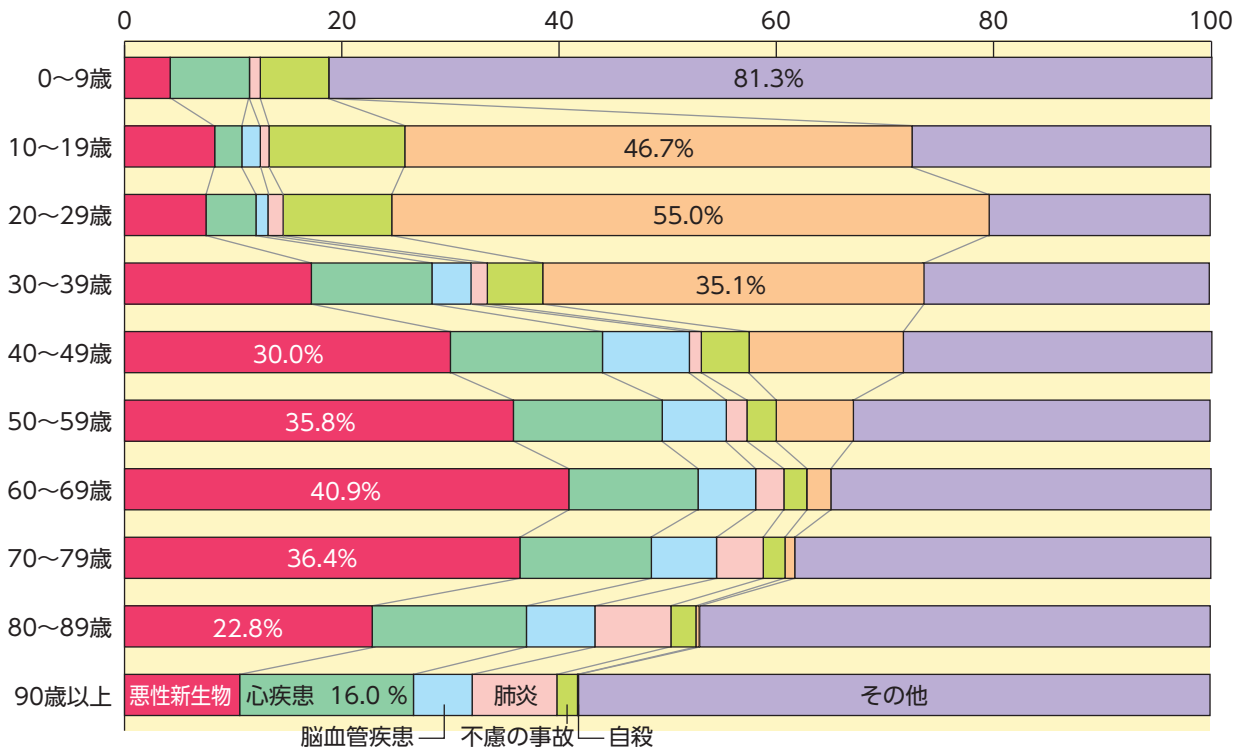
資料：厚生労働省「医療施設調査」

② 県内で働く医療従事者数の推移 (各年12月31日現在)



資料：厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師統計」、[衛生行政報告例] 県保健医療政策課「統計からみた埼玉県の医療」

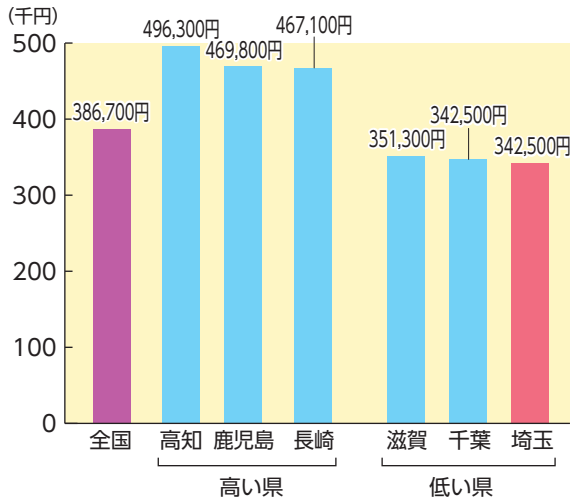
③ 年齢階級別の主な死因別の割合 (2024年)



↑ 年齢階級別に死因別割合をみると、10~30歳代では自殺、40~80歳代では悪性新生物(がん等)、90歳以上では心疾患の割合が最も高くなっています。

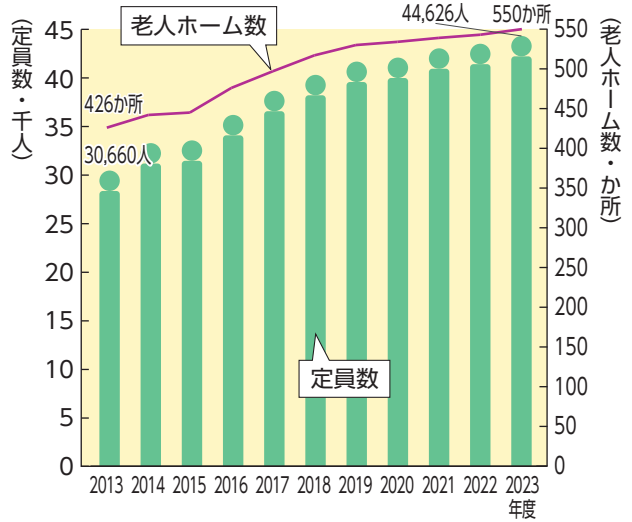
資料：厚生労働省「人口動態統計(確定数)」

④ 1人当たり国民医療費 (2023年度)



注1 都道府県別国民医療費は、国民医療費を患者の住所地に基づいて推計したものである。
 2 人口1人当たり国民医療費を算出するために用いた人口は、総務省統計局による「人口推計」(令和5年10月1日現在)による。
 資料：厚生労働省「国民医療費」

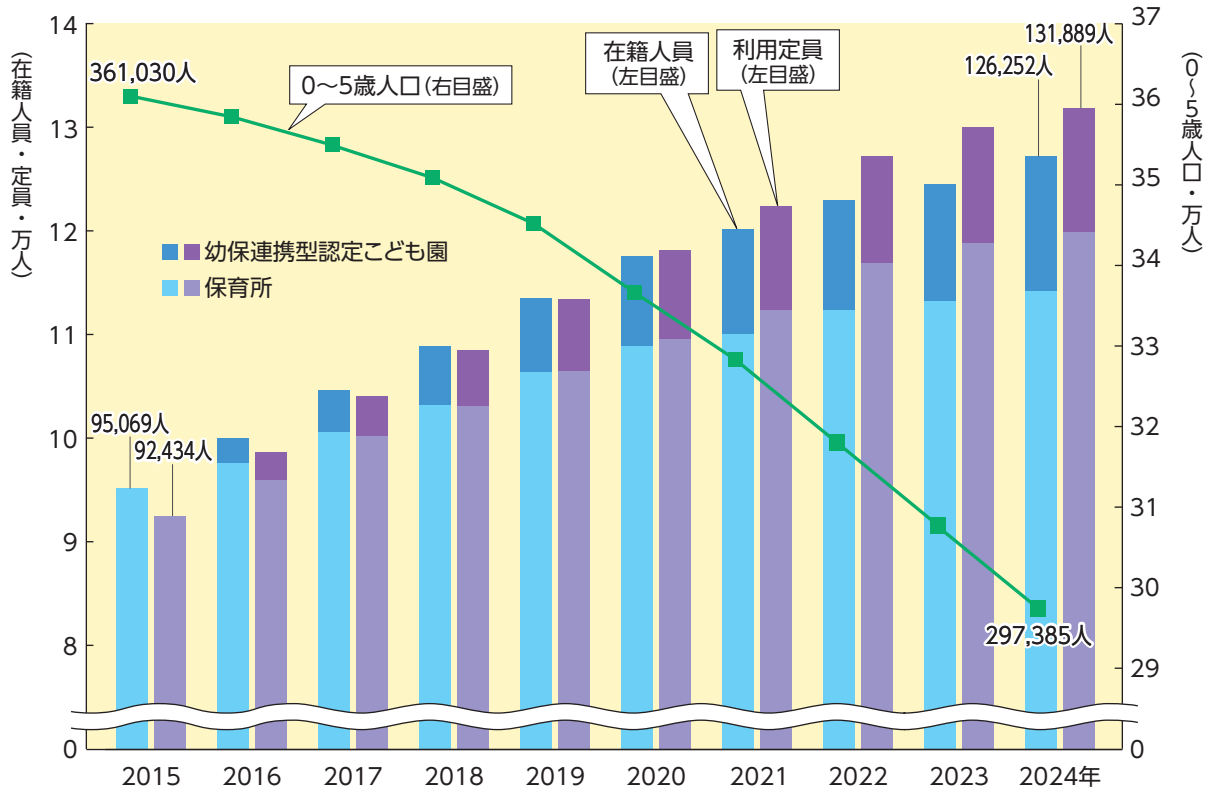
⑤ 老人ホームの数と定員数の推移 (各年度末現在)



注) 養護老人ホーム、特別養護老人ホーム、軽費老人ホーム(A型含む)の数値を合算したものである。
 資料：厚生労働省「福祉行政報告例」

📈 2023年度末現在の老人ホーム数は550か所、定員数は44,626人となりました。
 10年前の2013年度末と比べると、老人ホーム数は約1.3倍、定員数は約1.5倍に増えています。

⑥ 保育所及び幼保連携型認定こども園在籍状況の推移

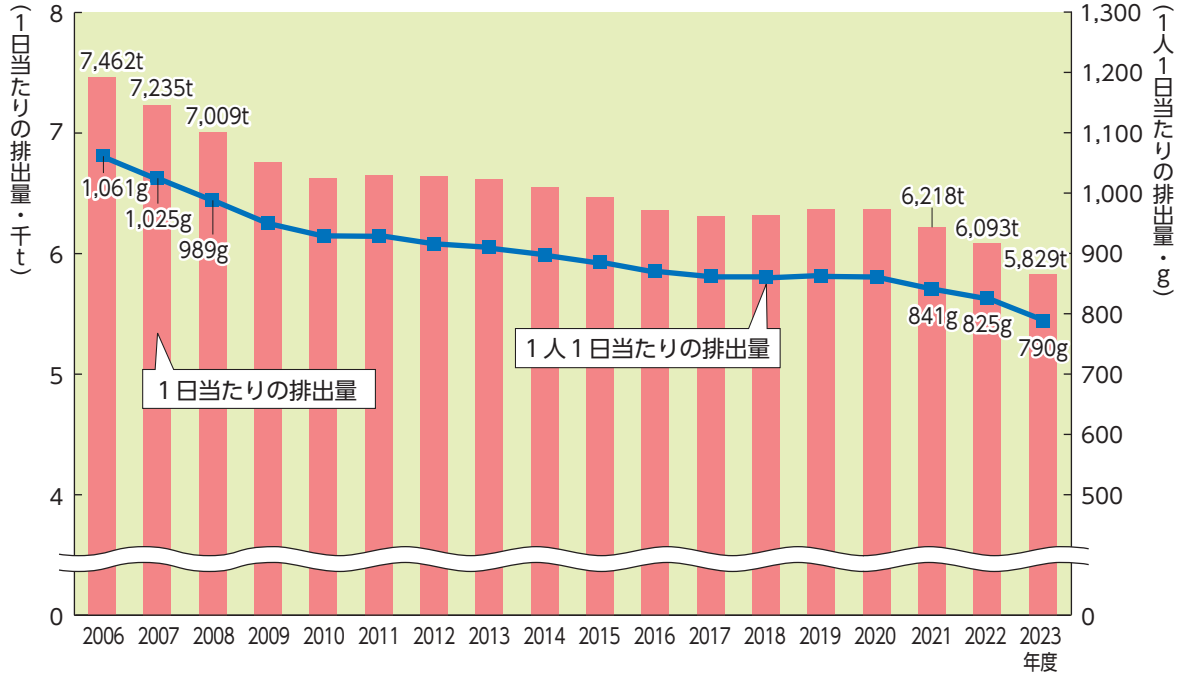


📈 0~5歳の人口は減少し続けていますが、保育所または幼保連携型認定こども園に在籍する乳幼児の数は、年々増加しており、2024年3月1日現在126,252人となっています。

注1 0~5歳人口は各年1月1日現在。
 2 利用定員及び在籍人員は各年3月1日現在。
 3 2015年までは保育所の集計。2016年以降は保育所と幼保連携型認定こども園の合計。
 資料：厚生労働省「福祉行政報告例」
 県統計課「埼玉県町(丁)字別人口調査結果報告」

12 環境

① 1日に出るごみの排出量の推移



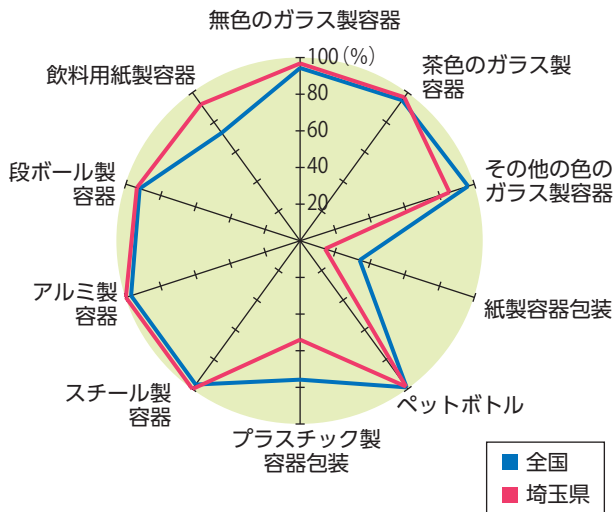
↑ 2023年度のごみの総排出量は2,133,356tで、1日当たりの排出量は約5,829tでした。1人1日当たりの排出量は2006年度から減少傾向であり、2023年度は約35g減少しました。

注) 1人当たりの排出量は各年10月1日現在の住民基本台帳に基づく人口による。
資料：県資源循環推進課「一般廃棄物処理事業の概況」

埼玉県の1日

1人当たりごみの排出量 790g

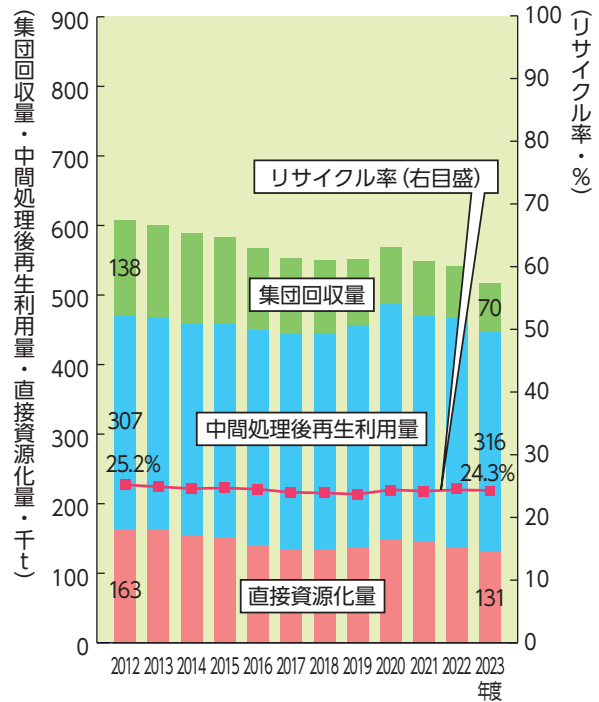
② ごみの分別収集をしている市町村数の割合 (2023年度)



注1 容器包装リサイクル法に基づき分別収集した市町村数の割合である。
2 実施市町村数は2024年3月末時点のものである。
資料：環境省「令和5年度容器包装リサイクル法に基づく市町村の分別収集等の実績について(令和7年3月28日報道発表)」

↑ スチール製容器、アルミ製容器の分別収集は、県内の全市町村で実施しています。

③ ごみのリサイクル状況の推移

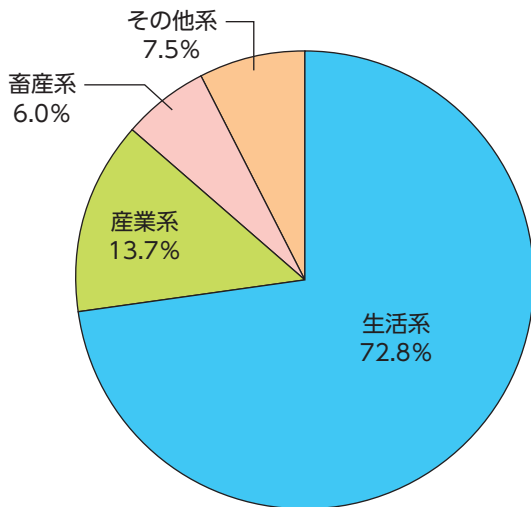


注) リサイクル率 (%)

$$= \frac{\text{直接資源化量} + \text{中間処理後再生利用量} + \text{集団回収量}}{\text{ごみの総処理量} + \text{集団回収量}} \times 100$$

 資料：環境省「日本の廃棄物処理」

④ 河川の水質汚濁の原因 (2022年度)

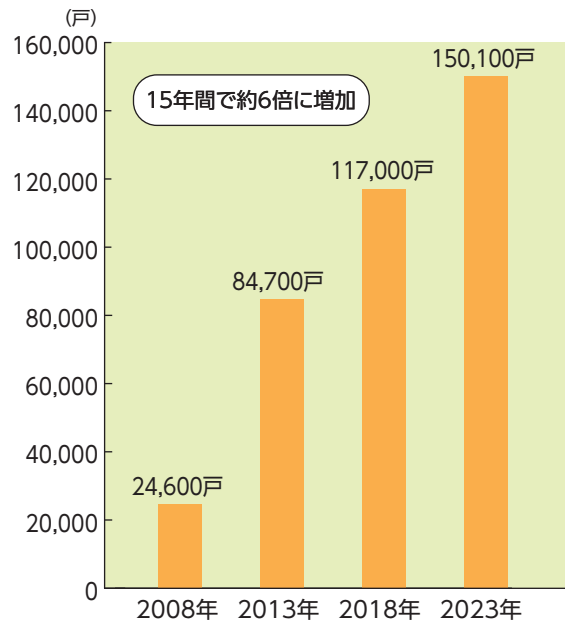


注)1 県内河川におけるBOD発生負荷量の原因別の割合である。
2 BODとは水中の有機物が微生物によって分解されるときに消費される酸素の量をいい、河川の水質汚濁の代表的な指標。数値が大きいかほど汚濁していることを示す。

資料：県環境政策課「埼玉県環境白書」

- 河川の水質汚濁の原因として最も大きいのは、家庭の台所や風呂などからの生活排水で、全体の約73%を占めています。

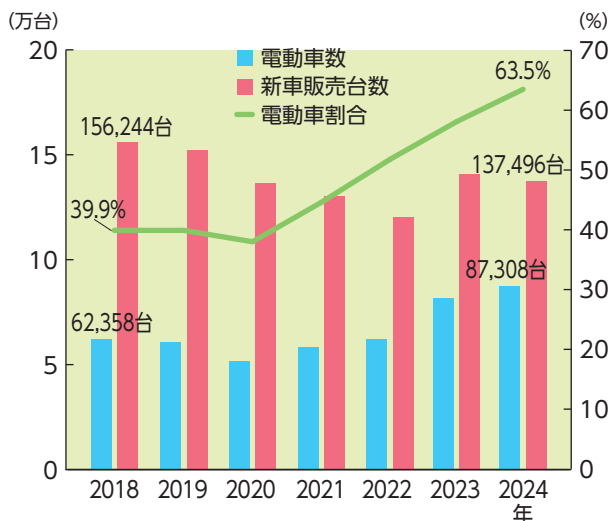
⑤ 太陽光発電のある住宅数 (各年10月1日現在)



資料：総務省統計局「住宅・土地統計調査」
県統計課「令和5年住宅・土地統計調査結果 埼玉県分の概要」

- 太陽光を利用した発電機器のある住宅数は、2008年から2023年までの15年間で約6倍の150,100戸に増加し、愛知県に次ぐ全国第2位になりました。

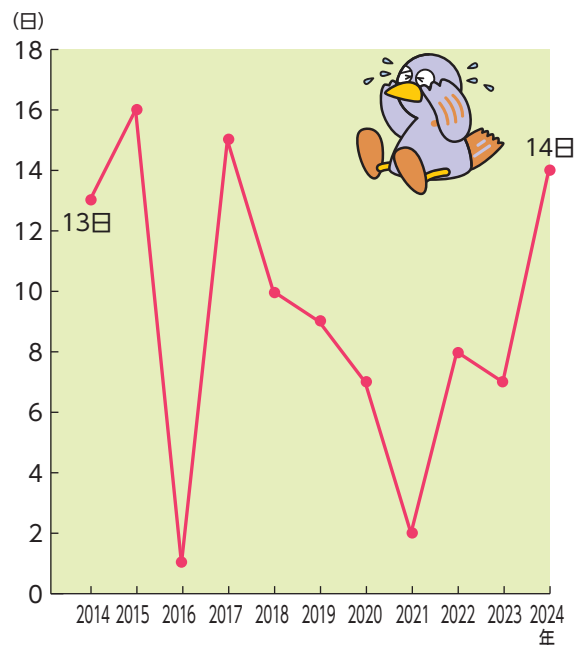
⑥ 新車販売台数における電動車の台数の推移 (各年3月31日現在)



注)1 軽自動車を除く。
2 電動車台数は電気自動車(EV)、ハイブリット自動車(HV)、プラグイン・ハイブリット自動車(PHV)、燃料電池自動車(FCV)の合計。
資料：県環境政策課「埼玉県環境白書」

- 新車(乗用車)販売台数における電動車の割合は年々増加しており、2024年は約64%を占めています。

⑦ 光化学スモッグ注意報発令日数の推移

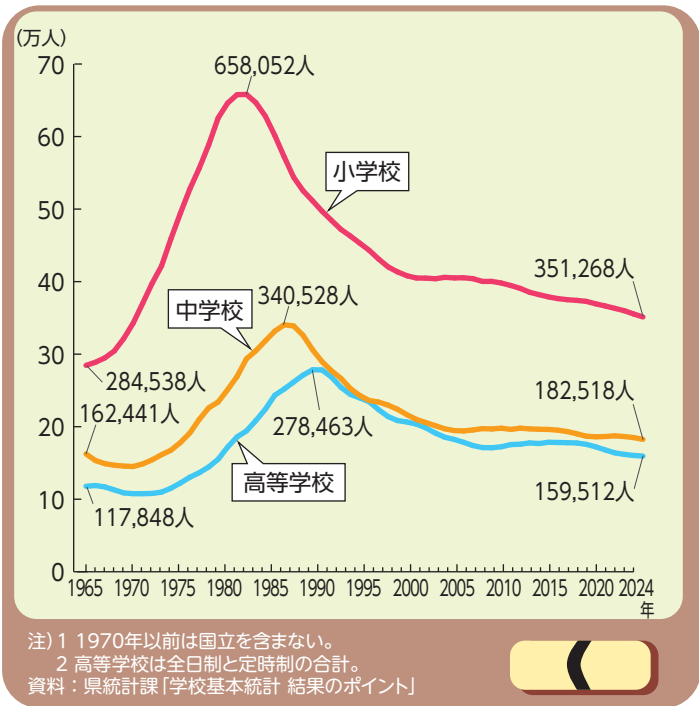


資料：県大気環境課「光化学スモッグの発生状況について(報告書)」

- 2024年の夏は光化学スモッグの発生しやすい気象条件(高温で日照時間が長く、風が弱い)となった日が多く、注意報の発令は最近10年間の平均発令日数(8.8日)を上回りました。

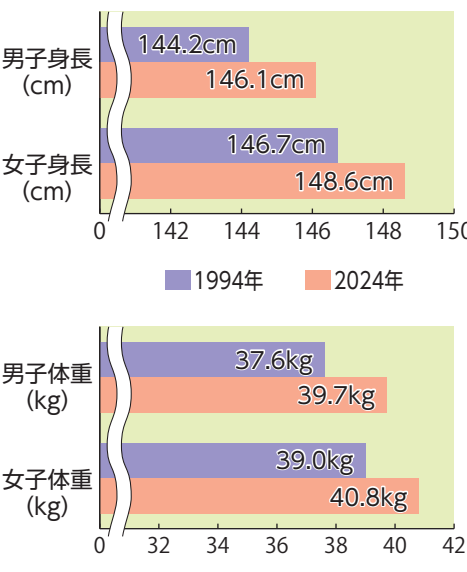
13 学校・教育

① 児童・生徒数の推移 (各年5月1日現在)



児童数・生徒数は、第2次ベビーブームの影響で、小学校は1982年、中学校は1986年、高等学校は1989年をピークに、その後は少子化による減少傾向が続いています。

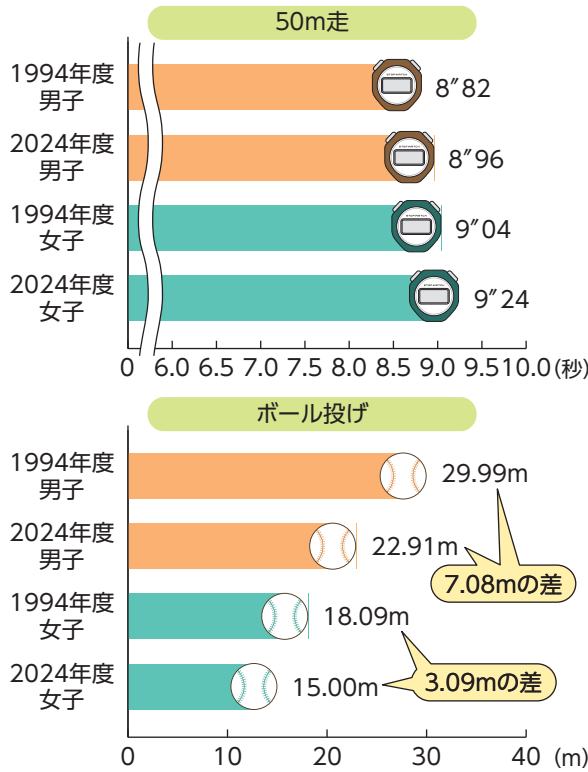
② 小学6年生(11歳)の身長と体重



30年前(1994年度)と比べて
 身長 男子：+1.9cm 女子：+1.9cm
 体重 男子：+2.1kg 女子：+1.8kg
 資料：県統計課「令和6年度学校保健統計調査」

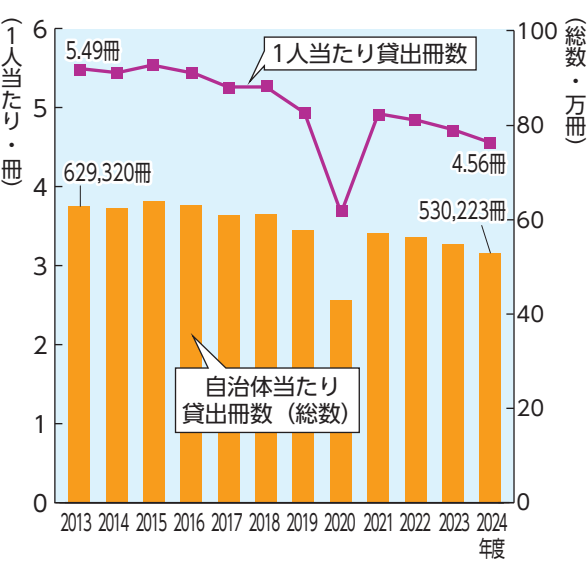
2024年度の小学6年生の体型を30年前(1994年度)と比べると、男女とも身長・体重が増加しています。

③ 小学6年生の運動能力 (50m走・ボール投げ)



注) 1994年度はさいたま市を含む平均値、2024年度はさいたま市を含まない平均値であり、集計範囲が異なるため単純な比較ができないが、参考に提示している。
資料：県統計課「埼玉県統計年鑑」

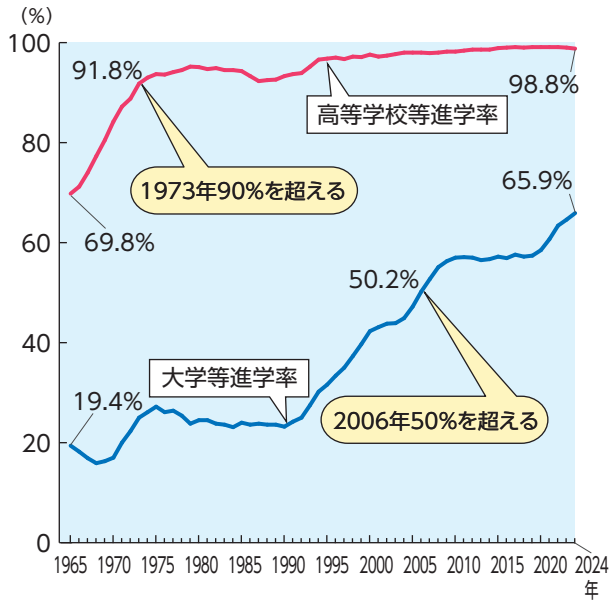
④ 図書館貸出冊数の推移



注) 1 県内各市町村図書館の年間の貸出冊数を各自治体の人口で割った冊数。
2 「貸出冊数」には団体貸出は含まれていない。
3 人口は各年4月1日現在の「埼玉県推計人口」による。
資料：埼玉県図書館協会「埼玉の公立図書館」

人口1人当たりの貸出冊数は徐々に減少しています。

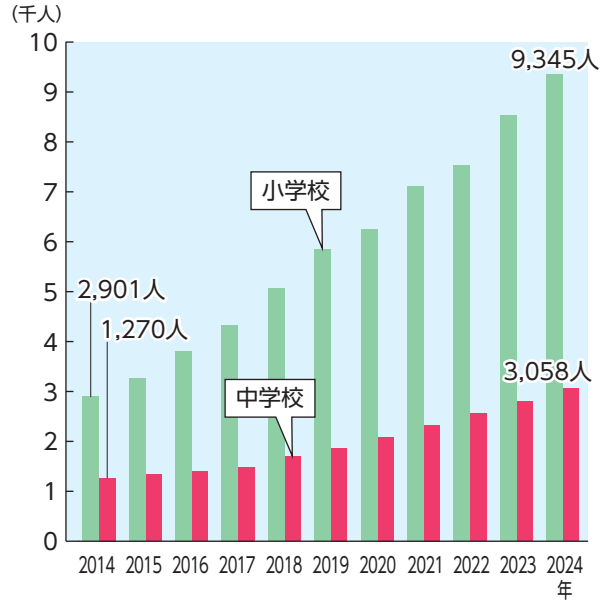
⑤ 進学率の推移 (各年3月)



資料：県統計課「埼玉県統計年鑑」、
「学校基本調査」

- 2024年3月の高等学校卒業者の大学等進学率(卒業者数に占める大学等進学者の割合)は65.9%で、前年より1.3ポイント増加しました。また、中学校卒業者の高等学校等進学率は98.8%で、前年より0.2ポイント減少しました。

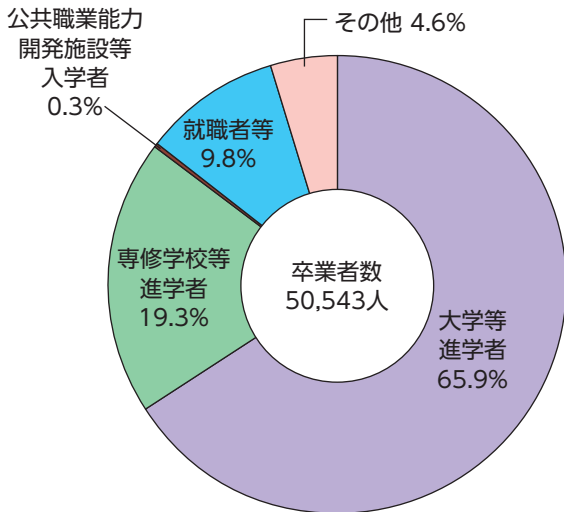
⑥ 小学校・中学校の外国人児童・生徒数の推移 (各年5月1日現在)



資料：県統計課「学校基本調査」

- 小学校・中学校の外国人児童・生徒数は10年前の2014年度に比べて増加しています。特に小学校の児童数が近年大きく増加しています。

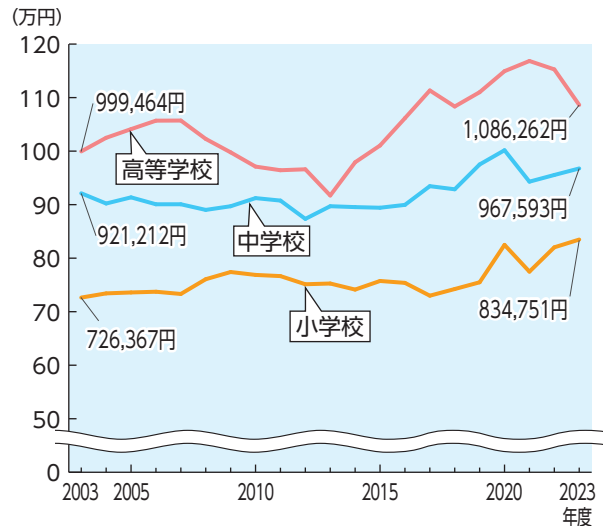
⑦ 高等学校卒業後の進路状況 (2024年3月)



注1 就職者には就職進学者等を含まない。
注2 その他とは、家事手伝いをしている者、外国の大学等に入学した者、進路が未定であることが明らかな者等。
資料：県統計課「令和6年度学校基本調査」

- 2024年3月の高等学校卒業者は、50,543人で前年より1,903人減少しました。卒業者のうち大学・短期大学等への進学率は、前年より1.3ポイント増加し、65.9%でした。

⑧ 児童・生徒1人当たりの学校教育費の推移

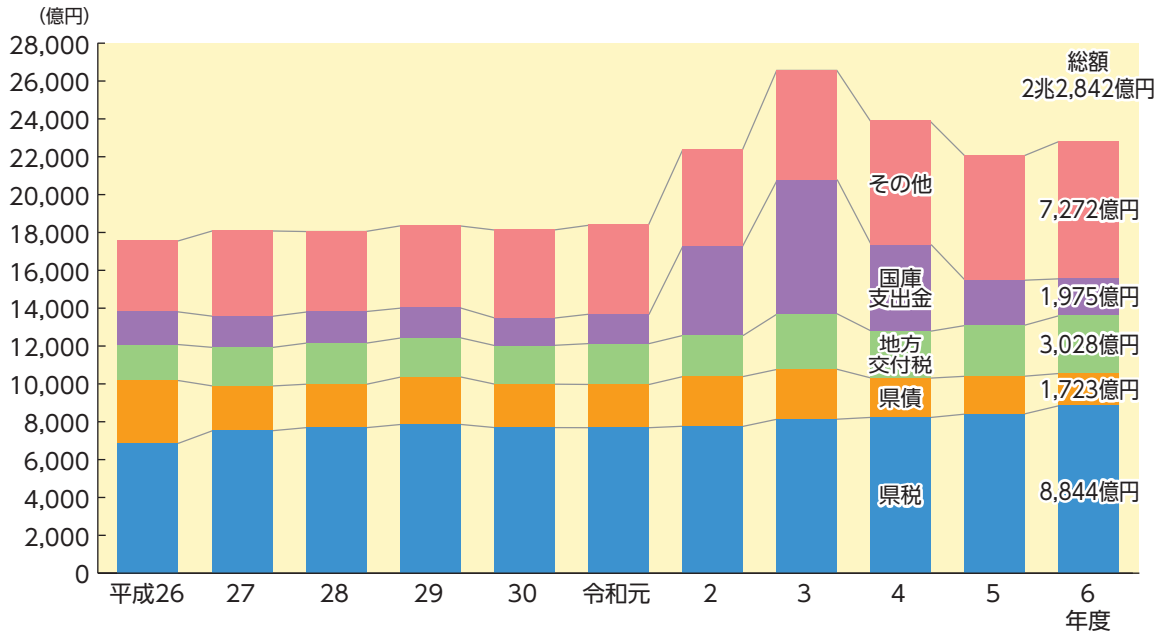


注1 児童・生徒1人当たりの学校教育費は、学校種類別の教育費を各年度5月1日現在の児童・生徒数で除した金額である。
注2 高等学校は全日制課程。
資料：文部科学省「地方教育費調査」、
県教育委員会「地方教育費調査」

- 2023年度の児童・生徒1人当たりの学校教育費は、20年前の2003年度と比べて小学校は約1.1倍、中学校はほぼ同額、高等学校は約1.1倍になっています。

14 財政

① 県の財政規模の推移 (一般会計決算・歳入)



「歳入」ってなあに？

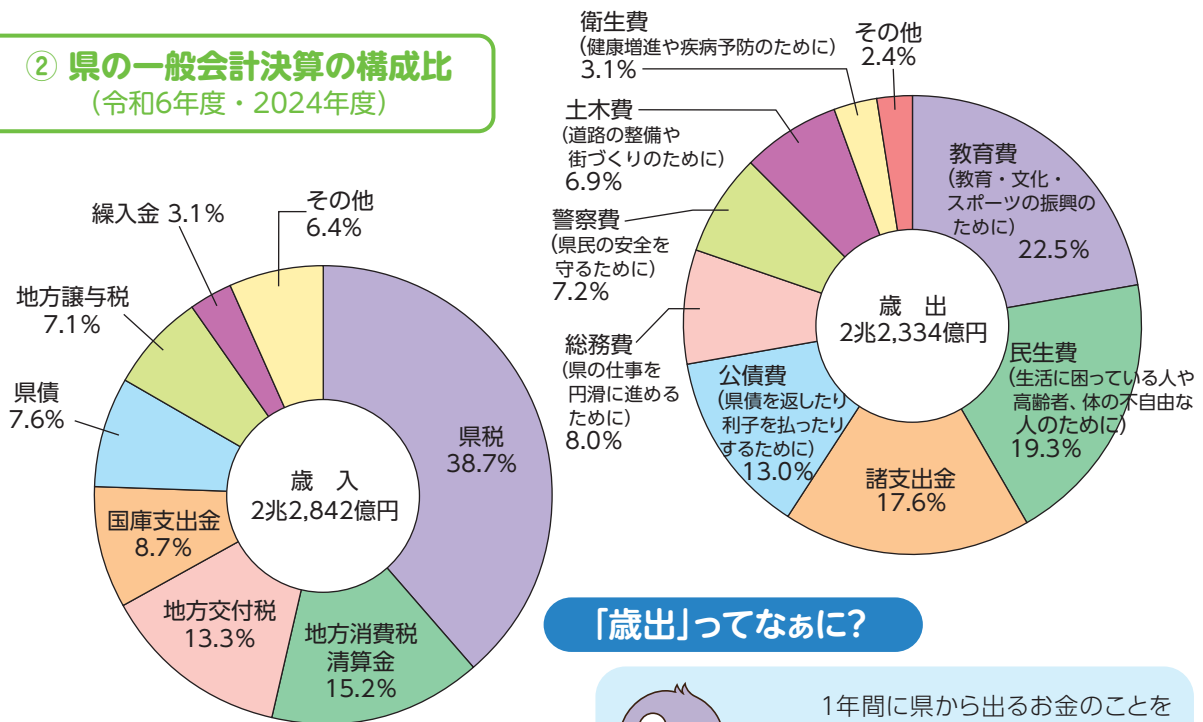
注) 1億円未満四捨五入。
資料：県会計管理課「埼玉県歳入歳出決算の概要(一般会計・特別会計)」

1年間に県に入るお金のことを「歳入」といいます。主な内容は次のとおりです。



- 県税** 県民が県に納める税金
- 地方交付税** 地方公共団体の財源不足を補うために、国税の一定割合を国が地方公共団体に対して交付するもの
- 国庫支出金** 地方公共団体が行う特定の仕事に対して、使い道を定めて国が補助金・負担金として支出するもの
- 県債** 県が国や銀行、県民などからお金を借りるために発行するもの

② 県の一般会計決算の構成比 (令和6年度・2024年度)



「歳出」ってなあに？

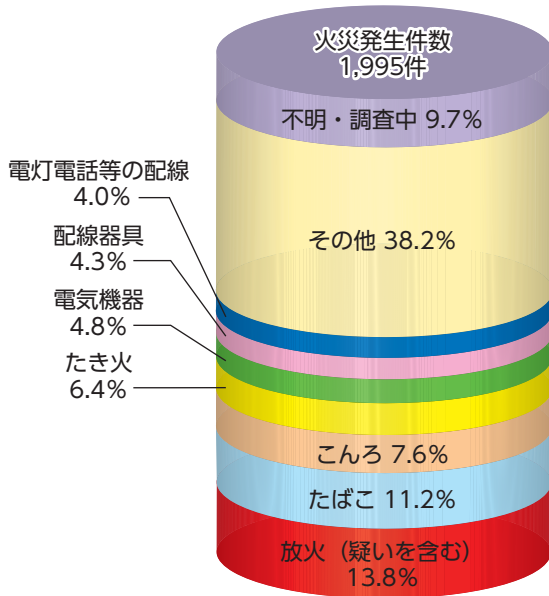


1年間に県から出るお金のことを「歳出」といい、県民生活を支えるために県が行う様々な仕事に使われています。

注) 端数処理の関係で、内訳の合計が100%にならないことがあります。
資料：県会計管理課「埼玉県歳入歳出決算の概要(一般会計・特別会計)」

15 火災・救急

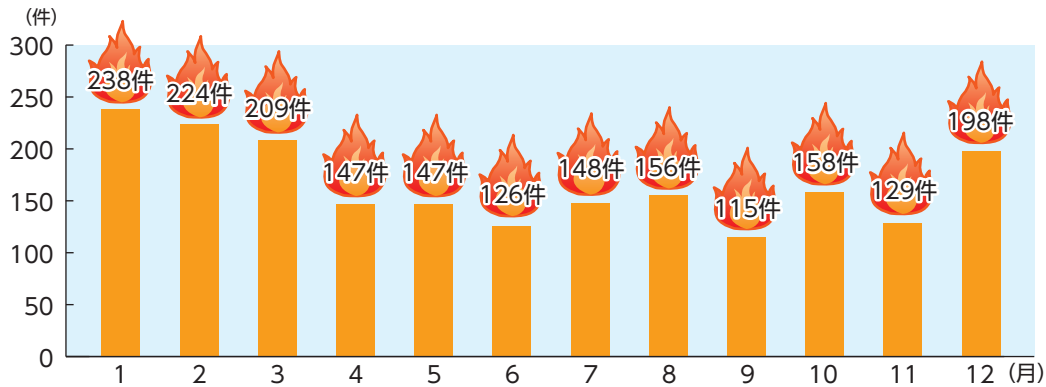
① 原因別の火災発生件数の割合 (2023年)



資料：県消防課「消防年報」

2023年の火災発生件数は1,995件で、前年に比べて294件(17.3%)増加しました。最も多かった原因は放火(疑いを含む)で、275件でした。

② 月別の火災発生件数 (2023年)



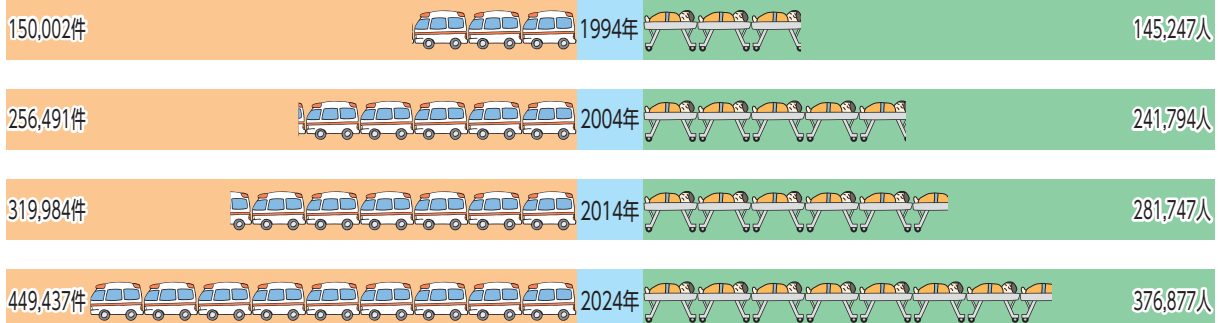
冬季は空気が乾燥したり、暖房器具を使用する機会が増えたりすることから、月別の火災発生件数は12月から3月にかけて多くなっています。

資料：県消防課「消防年報」

③ 救急自動車の出動件数と搬送人員の推移

出動件数 = 5万件

搬送人員 = 5万人



2024年中の救急出動件数は449,437件、搬送人員は376,877人でした。これは、約1分10秒に1回の割合で救急自動車が出動し、県民約19人に1人が搬送されたこととなります。(人口は県統計課による「2024年10月1日現在の推計人口」を使用)

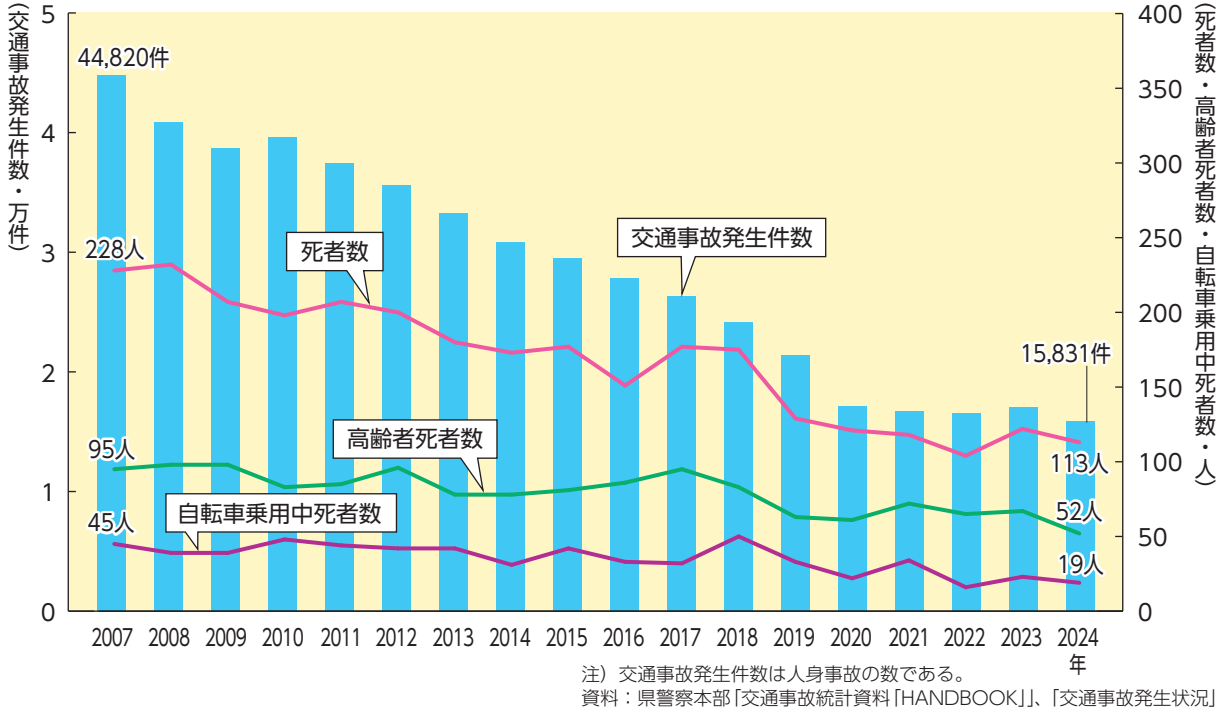
資料：総務省消防庁「救急救助の現況」
県消防課「消防年報」

埼玉県の1日

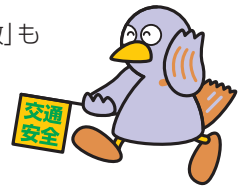
救急自動車の出動件数 1,228件

16 交通事故・犯罪

① 交通事故の発生件数と死者数の推移

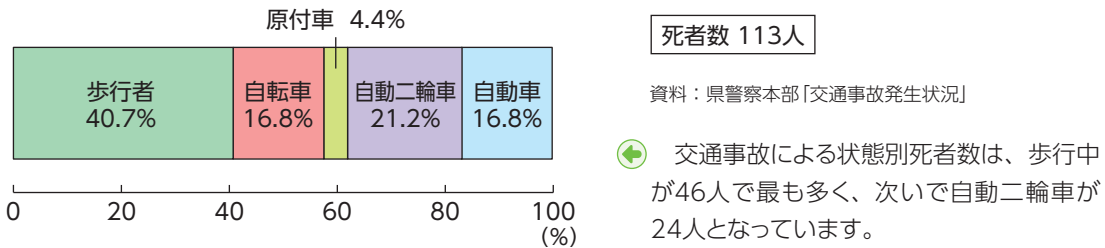


- 2024年中の交通事故の発生件数は、前年より1,171件少ない15,831件でした。交通事故による死者数は基本的に減少傾向にあり、2024年は「自転車乗用中死者数」も減少しました。また、「高齢者死者数」は前年より15人減少して52人となっています。

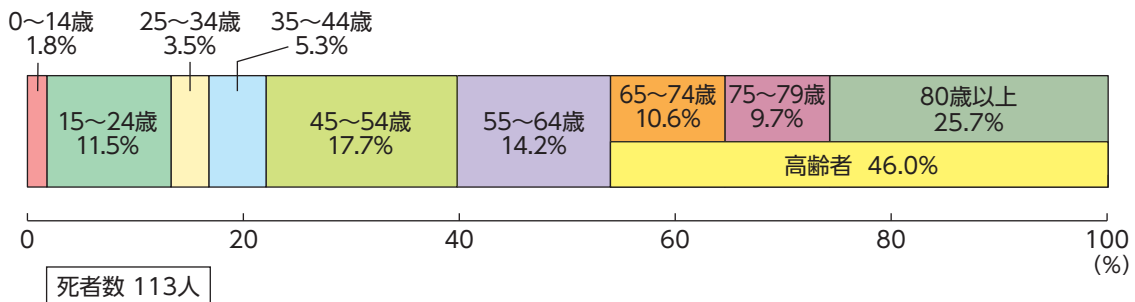


埼玉県の日 交通事故(人身事故)発生件数 43件

② 状態別の交通事故死者数の割合 (2024年)

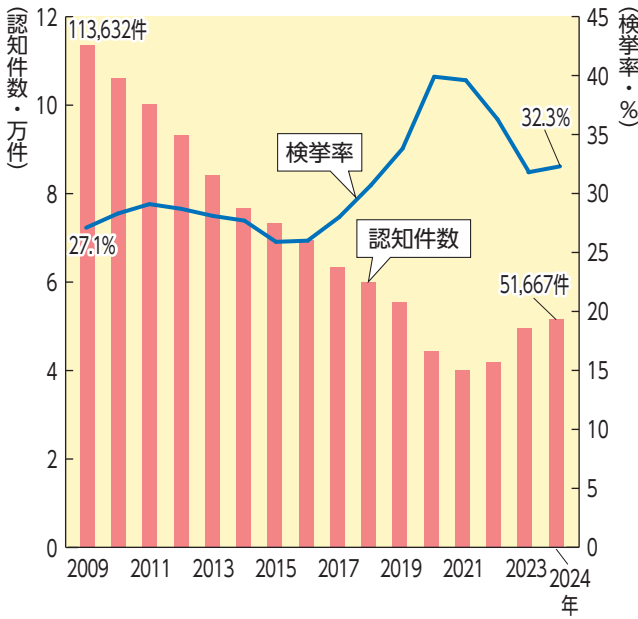


③ 年代別の交通事故死者数の割合 (2024年)



- 交通事故による死者数を年齢別に見ると、65歳以上の高齢者が52人と、全体の46.0%を占めています。また、0～14歳の死者数は2人でした。

④ 刑法犯の認知件数と検挙率の推移

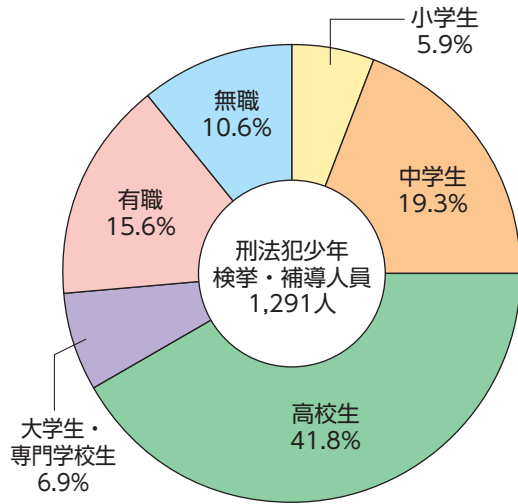


注) 交通業過を除く。
資料：県警察本部「犯罪統計」

- 2024年の刑法犯の認知件数は51,667件で、前年より2,014件(4.1%)増加しました。また、検挙件数は16,691件で、認知件数に占める割合(検挙率)は32.3%となり、前年を0.5ポイント上回っています。

🌞 埼玉県の1日 🌙 刑法犯認知件数 141件

⑤ 刑法犯で検挙・補導された少年の学職別人員の割合 (2024年) (刑法に触れる行為をして補導された触法少年を含む)



注1) 刑法犯少年とは14歳以上20歳未満の者で、刑法等に規定する罪(交通関係を除く。)を犯した(犯罪に触れる行為をした)少年。
注2) 触法少年とは犯罪に触れる行為をした14歳未満の少年。
資料：県警察本部「少年非行等の概況」

- 2024年中に検挙・補導された少年の数は1,291人でした。最も多かったのは高校生で全体の41.8%でした。

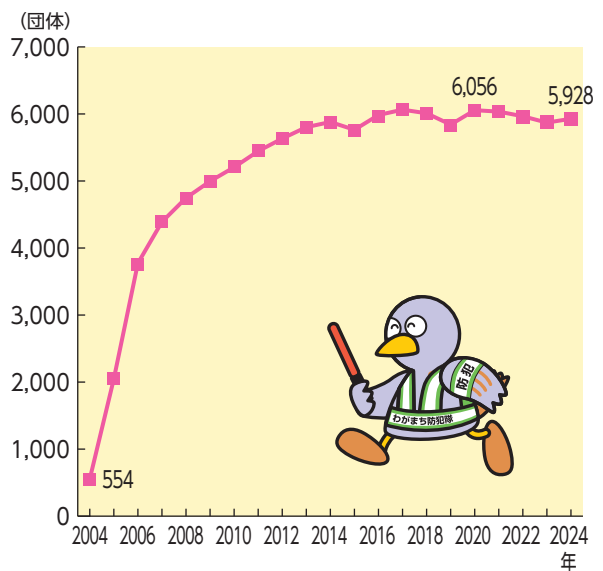
⑥ 特殊詐欺の認知件数・被害金額の推移



資料：県警察本部「特殊詐欺統計資料～認知状況と被害の特徴～」

- 2024年中の特殊詐欺被害は、認知件数1,586件、被害金額は53億8,939万円でした。

⑦ わがまち防犯隊の数の推移 (各年末現在)



注) 5人以上で平均して月1回以上活動している団体の数である。
資料：県防犯・交通安全課「わがまち防犯隊の数の推移」

- 県内の自主防犯活動団体(愛称：わがまち防犯隊)の数は、5,928団体(2024年末現在)で日本一です。わがまち防犯隊では、地域で自主的に防犯パトロールや子供の見守り活動などの防犯活動を行っています。

統計グラフを作ってみよう！

統計グラフは、統計データをいろいろな形で表し、より分かりやすくするためのものです。ここでは、みなさんが使う統計グラフのうち、おもなものについて簡単に説明します。

統計グラフのおもな種類



- 単位グラフ
- 棒グラフ
- 面積グラフ
- 体積グラフ



- 円グラフ
- 帯グラフ



単純比較統計グラフ

2つ以上の数量の差や比、大小の順序などを観察するときに使います。単位グラフや棒グラフなどがあります。

『単位グラフ』

数量を簡単な点 (イラスト・マーク) で表し、その点を数えやすいように並べて数量を比較するグラフです。

☆点は、同じ形、同じ大きさに揃えます。

☆すべての点は同じ単位 (数量) とし、その単位 (数量) を示す点の凡例を必ず表示します。

☆点のはじまりを揃え、点は同じ間隔で配置します。

☆点の最後に数量を表示します。

『棒グラフ』

一定の幅の棒 (柱) を並べ、棒の長短・高低で数量を比較するグラフです。数量を比較したり、時間による変化を見たりするときに使います。

☆棒の幅は同じ太さとし、同じ間隔で配置します。

☆棒は、必ず0の目盛り線 (基線または0線と呼ぶ) の上に立てます。

☆棒は、順序に決まりがない限り、数量の大きい順に並べます。「その他」は最後にします。

百分比グラフ

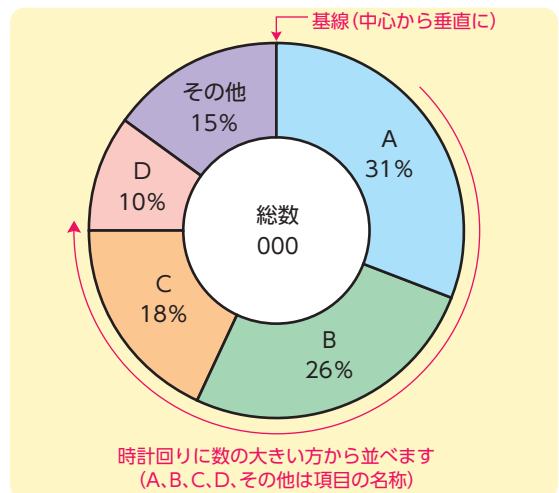
総数に対する各数量の構成比 (%) を観察するときに使います。円グラフや帯グラフなどがあります。

『円グラフ』

☆円の中心から上にのびた垂直線を基線 (0線) とします。

☆内訳は、順序に決まりがない限り、数量の大きい順に右回り (時計回り) に並べます。「その他」は最後にします。

☆目盛りをつけず、内訳は百分率 (%) で表示します。

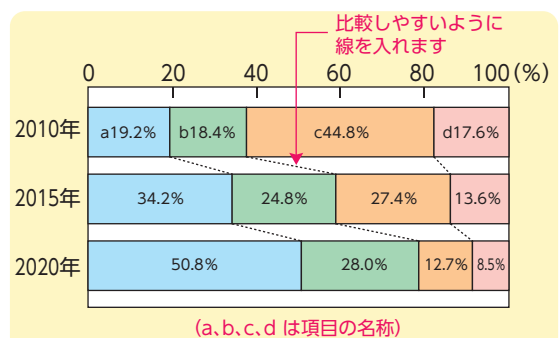


『帯グラフ』

☆帯が横のときは左端を、縦のときは下端を基線 (0線) とします。

☆内訳は、順序に決まりがない限り、数量の大きい順に並べます (基線が左端のときは左から右へ、下端のときは下から上へ)。「その他」は最後にします。

☆内訳は百分率 (%) で表示します。



10月18日は「統計の日」

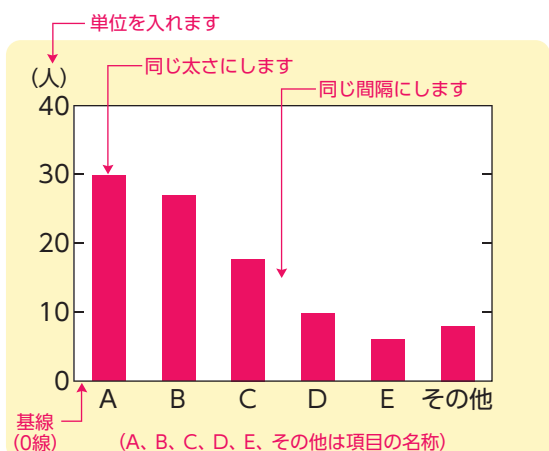
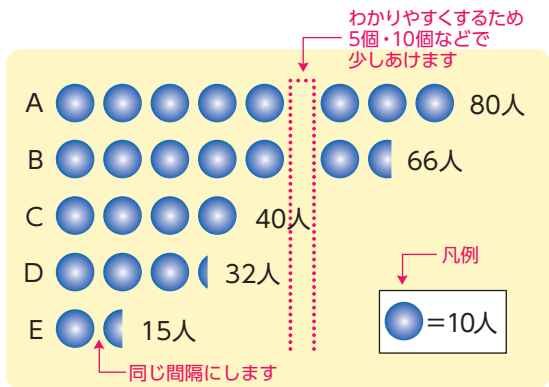
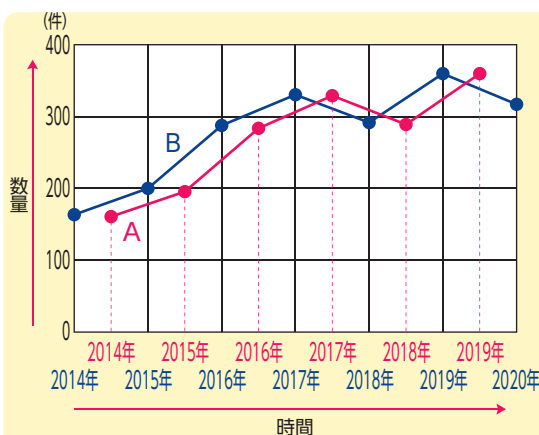
「統計の日」は、統計の重要性に対する国民の関心と理解を深め、統計調査へのより一層の協力を得るために定められた日です。

「10月18日」は、わが国で最初の近代的生産統計である「府県物産表」についての太政官布告が交付された明治3年9月24日(太陰暦)を太陽暦に換算した日です。

線グラフ

長期間にわたり連続して変化している数量を線の傾きによって観察するときに使います。

- ☆基線は原則として0にします。
- ☆縦軸に数量、横軸に時間をとります。
- ☆時間目盛りは時間の長さを示すので、時間が経過した長さ、時間目盛りの間隔は比例させます。
- ☆線を結ぶ点の位置は、ある期間の数量を表すときはAのグラフのように時間目盛りの中間上に表し、ある一定時期の状態を表すときはBのグラフのように時間目盛り上に表します。



統計グラフには、まだまだたくさんの種類があります。みなさんも、ぜひ一度作ってみてください。

第73回 統計グラフ全国コンクール入選作品

埼玉県では、統計グラフの作成を通じて、統計への理解と関心を深めていただくことを目的として、「埼玉県統計グラフコンクール」を昭和25年から実施しております。

県内(在住、在学、在勤)の小学生から一般の方までを対象に、皆さんが身近な日常生活の中で観察したことや気づいたこと、社会の出来事などをテーマにし、統計データをグラフやイラストを使って、個性的に表現した、ポスターのコンクールです。例年、6月から9月上旬が募集期間です。詳しくは、県統計課ホームページ「彩の国統計情報館」を御覧ください。

みなさまの作品をお待ちしています！

第4部 知事賞(1等) 全国コンクール「入選一席」

佐藤栄学園 栄東中学校 3年 石井 友和子 さんの作品

「0.01秒の壁に挑む
~桐生祥秀選手から見る100m走の速さの秘訣~」

「彩の国統計情報館」をご利用ください

『彩の国統計情報館』は、埼玉県に関する統計調査の結果や統計資料を公開しているホームページです。探している統計データを18の分野やキーワードから検索できます。また、統計調査以外の統計情報も充実していますので、ぜひ、ご利用ください。



「彩の国統計情報館」へのアクセスは

彩の国統計情報館

検索

クリック



子供のための統計学習応援ホームページ



コバトンと学ぶ 🐧 『こども統計クラブ』!

「統計って何だろう?」「埼玉県のいろんなデータを知りたい!」
そんなキミ、さっそく『こども統計クラブ』にアクセスしてみよう!

こども統計クラブ

けんさく

クリック



2026

グラフで見る彩の国さいたま

(2026年・令和8年3月発行)

編集／埼玉県総務部統計課

発行／埼玉県統計協会

〒330-9301 さいたま市浦和区高砂3-15-1

☎048-830-2312(直通)